

会長のページ 日本医師連盟について(提案)	稲倉 正孝	3
日州医談 24年度診療報酬改定について	河野 雅行	4
エコー・リレー(442)	後藤 啓輔, 栗田 正弘	6
メディアの目 ドクターヘリ	大村 俊哉	10
宮崎大学医学部だより(社会医学講座公衆衛生学分野)	黒田 嘉紀	16
専門分科医会だより(産婦人科医会)	濱田 政雄	17
診療メモ 孤立死の現状 - 宮崎市から	大西 雄二	48

あなたできますか?(平成 23年度医師国家試験問題より)	7
宮崎県感染症発生動向	8
薬事情報センターだより(301) 新薬紹介(その 55)	11
各都市医師会だより(延岡市医師会, 日向市東臼杵郡医師会)	12
九州医師会連合会第 32回常任委員会	18
日医インターネットニュースから	22
理 事 会 日 誌	26
ベストセラー	29
県 医 の 動 き	30
会員の異動・変更報告	32
ドクターバンク情報	35
行 事 予 定	39
医学会・講演会・日医生涯教育講座認定学会	41
あ と が き	52

~~~~~

|                                 |    |
|---------------------------------|----|
| 告 知 第 15回宮崎県医師会定例代議員会開催         | 20 |
| ご 案 内 平成 24年度第 69回宮崎県医師会定例総会    | 20 |
| お知らせ 宮崎県医師会メーリングリストのご案内         | 19 |
| 諸会費決定について                       | 24 |
| 「はまゆう随筆」原稿募集                    | 31 |
| 平成 24年度日本医師会認定医療秘書養成制度卒業生求職のお願い | 34 |
| 都市医師会への送付文書                     | 50 |

## 医 師 の 心 得

- 1 . 私たちは、皆さまの  
健康状態をよくお聞きします。
- 2 . 私たちは、皆さまに  
最善の医療を提供できるよう心がけます。
- 3 . 私たちは、皆さまに  
医療内容をよく説明し、一緒に医療を行います。
- 4 . 私たちは、皆さまの  
「知る権利」・「知りたくない権利」を大切にします。
- 5 . 私たちは、皆さまの  
健康維持と医療の質の向上に尽くします。

公益社団法人 宮崎県医師会

(平成 14 年 3 月 12 日制定)

〔表紙作品 写真〕

### 大地

新燃岳の噴火を夕方のニュースで知り、小林へと車を走らせ撮影。

小林で 30 年近く生活していた私にとっては、霧島連山は第二の故郷、その山がゴーゴーと唸り声を上げながら、噴火している姿を観て改めて大地の偉大さ、恐ろしさを知らされました。

心の不安、動揺を抑えながらシャッターを切り続けました。

宮崎市 烏 野 未留子

## 会長のページ

## 日本医師連盟について( 提 案 )

いな くら まさ たか  
稲 倉 正 孝

平成 24 年夏に参議院議員選挙，場合によっては衆参同時選挙も想定される。平成 24 年の参議院議員選挙で日本医師連盟の 3 候補全員が落選した。獲得した得票は，3 候補合わせて 170,189 票であった。

平成 23 年 2 月 6 日の平成 23 年度日本医師連盟活動指針( 案 ) によると

1. 「支持政党」については，今後の政治状況等を勘案し，「政権与党」を基本に弾力的に対応する。
2. 政治活動については，日本医師会の医療政策を実現するための政党並びに政治家個人への政治活動については，政権与党を中心に幅広く行う。なお，その際，各都道府県医

師連盟との連携体制を，より強力に構築しつつ，日本医師会の医療政策の実現に万全を期すとしている。

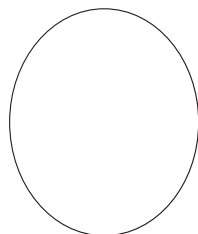
政党助成法に基づく政党交付金は国民一人あたり 250 円で，直近の国勢調査で判明した人口を基に計算される。平成 24 年度分の政党交付金の総額は 319 億円余りと巨額であり，議員数割( 1/2 )，得票数割( 1/2 )にて各政党に配分される。日本医師連盟の活動で最も欠けているのは，政治家及び政党が最も欲しがっている「票」の重みに対する配慮が低いことである。民主主義では，政治家は選挙の洗礼を受けなければならない。政治家及び政党の権力及び資金の根源は「票」である。政治の世界では，獲得した「票」数が力になるという現実を会員にしっかりと認識してもらう必要がある。また，日本医師連盟は「支持政党」に重きを置きすぎたことは深く反省すべきである。

日本医師連盟の医政活動は，大きく 2 つに分けられると考える。1 つは，日本医師会の医療政策を実現するための政治活動であり，もう 1 つは選挙活動である。従来，日医と日医連の執行部が同じメンバーであったことは，政治活動には好都合であったかも知れないが，選挙( 集票 )には全く機能しなかった。このことが，日医連が多額の資金を用意しながら，実績を残せなかった最大の原因であると考えられる。

会員の政治離れが続いている。日本医師会の医療政策を実現するために，医政活動が重要であることを会員に理解してもらう必要がある。強い医師連盟にするため，次の 3 点を提案する。

1. 日医の公益社団法人化に際して，日医連もその役割を政治活動と選挙活動の 2 つに明確化する。
2. 30 名の常任執行委員を役割によって 3 つに分ける。
  - 1) 日医執行部と併任の常任執行委員( 10 名 )は，日医の医療政策を立案し，実現すべく政治活動を行う。
  - 2) 各ブロック代表の常任執行委員( 8 ～ 16 名 )は，各ブロックの都道府県医師連盟と連携して選挙活動・集票に専念する。
  - 3) 残り常任執行委員( 4 ～ 12 名 )は，四病院協会，精神病院協会，有床診療所協議会等より選出する。政治活動，選挙活動・集票を行う。
3. ブロック代表の常任執行委員は，職務に専念できるように日医役員( 日医理事 )に準ずる身分保障を行う。  
( 平成 24 年 5 月 31 日 )

## 日州医談



## 24年度診療報酬改定について

副会長 かわのまさゆき  
河野 雅行

今回は診療報酬と介護報酬の同時改定でした。前回改定では地域医療最前線では不十分な結果に終わったために不満が<sup>くすぶ</sup>っておりまして。今回は各方面からの要望を受けて内容的には様々な工夫の跡が見られます。前回改定後に、日医原中前会長は次回こそ地域医療を再生するために納得いく十分な改定を約束しました。ところが、実際に蓋を開けてみると減額こそなかったものの不十分な結果でした。今回の改定に対するアンケートによると 63%の医師が不満を持っています。その結果がこの度の日医会長選結果の一因となったものと推定されます。今回の改定の伏線として我国の経済情勢や大震災の影響は否定できないし、その様な状況下にしては良かったとの声もあります。しかし、経済とはある程度のリンクはしても、必要な社会保障は確保すべきです。日医の横倉新執行部に期待したいものです。先生方におかれましては改定の詳細は別報で既に御存知と思われますので、ここでは診療報酬について幾つかの問題点を提起させていただきます。

診療所再診料 地域医療を支えている診療所の再診料が大方の要望にも関わらず前回減額されたまま据え置かれたのが今回改定における最大の過ちでした。国は地域医療の再生、充実を事ある毎に唱えてはいても、この結果を見る限り本気度が疑われます。診療所における再診料は人体に例えると正に血液であり、これを減額したままであるのは慢性の貧血状態が続いてい

るのと同じで、既に彼方此方に不具合が生じています。早急に改善する必要があります。

種々加算 再診料を補完する意味であるのか様々な加算項目が挙げられています。丁寧に請求すれば相当な点数になるはずですが、しかし、無理に項目を設けた感も否めませんし、施設基準や請求基準が厳しく、実際は請求し難くなっています。更に、相変わらず膨大な書類を必要として面倒です。その上、諸手続きが不十分であれば、後日指摘を受け、遡って返還命令が来るとあれば、請求される医療機関は少なくなるものと思われます。正に画餅<sup>がべい そし</sup>の誘いを避けられません。

在宅医療：今回の改定でも在宅医療推進が謳われていますが、在宅医療を進める国の主眼は何でしょうか？再診料等の診療報酬を減額して、地域医療を支えて来た診療所を苦境に追い込み既存の医療提供体制を壊してまで在宅医療を強引に進める国の意図が理解出来ません。データでは、終末期でも国民の大部分は在宅よりも医療機関を望んでいる例が多い様です。在宅看取りを勧める厚労省のデータを見ても在宅死亡予測は 2030年に現在の 1.5倍、推定全死亡 165万人中 20万人、12%にしかありません。医療費削減が目的であるならば同程度の医療サービスを提供した場合、あるデータによると在宅の方が高費用となります。現状は在宅医療を勧めても核家族化した家庭では引き受けられない事情があります。特に介護まで要する状態の患者であれ

ば家族の誰かが仕事を辞めての在宅介護・看護が必要になり、当然のことながら一家の収入が減ってしまいます。人的負担と減収との二重苦となります。様々な加算を付けて在宅医療に熱心な医療機関を保護するのは必要なことではあっても、そのために患者負担が増えるのであれば在宅医療そのものを希望する患者が減るのではないかと危惧されます。

入院基本料 今迄加算・減算の項目であった褥瘡対策と管理栄養士の配置が有床診療所入院基本料に包括されました。2 年間の暫定猶予期間はあるものの、充足しない場合には入院基本料自体が算定不可となります。褥瘡対策はともかく、管理栄養士の確保は様々な理由から困難な状況です。日医でも問題視しておりますが、これを期に現在でも増加している有床診療所の病床閉鎖の流れが再び加速するのではないかと懸念されます。

消費税：単純に診療報酬の面からのみでは難しいところですが、様々な切り口から検討する必要があります。現在の税体系では医療機関の経営を圧迫していますし、将来 8 %，10% となっていけば深刻な事態になると言われています。日医でも今後は本腰を入れて当局との交渉に当たる気構えを見せております。日医に期待したいと思います。

その他 入院中の他科受診，複数科受診，後発医薬品，リハ問題等多々あります。

一方で診療報酬改定に伴い医療類似行為における療養費の問題も取り上げられています。医科の診療費はここ 10 年にわたって停滞し、むしろ一時は減少していました。しかし高齢者の医療費・療養費は増え続けて、中でも、柔整師、あんま、針、灸等の医療類似行為の療養費は毎年二桁に近い数字で伸び続けています。2009 年

度には 4,000 億を超して、結果市町村の国民健康保険を圧迫し始めています。そこで厚労省・行政としても看過出来ない段階となり、療養内容の見直しとして、幾つかの項目に対する検討会を設置する予定です。それを受けて県後期高齢者医療広域連合療養費適正化研究会では手始めに、療養を行うに当り必要となる医師の同意書について以下のように見直す方針です。

各市町村で不統一であった同意項目、指示項目、情報提供のありかた等の書式を統一する。理由として 現在の同意書では医師の同意指示項目等が不十分・不適切な例が見られる。同意書内容の改竄例が多々見られる。例えば 30 日 / 月の療養回数、歩行可能者にも往療(医科の往診にあたる)している。具体的には 7 月を目途に実施したい意向のようです。

改定案では医療内容について各市町村の書式を医学的に納得出来る具体的内容に統一する。療養担当規則の遵守。往療は改定案では介護保険の 4，5 相当例とする。

改革は大いに結構です。今回は同意書の改革がされます。しかし、より重要なのはチェック機構の整備です。医療保険の運用には正しい利用が求められており、保険医療機関は必ず社保・国保審査会のチェックを受けなければならない仕組みになっています。療養費チェックについても県医師会は整形外科医審査員を配置する様に要望しております。勿論、大部分の施術者は正当な療養を行っている反面、一部にはルールを正しく理解していない施術者がいることも否めません。せめて医療機関に対するのと同程度のチェック、指導、監査を行うべきであると考えます。今回の改定は後期高齢者が対象ですが、今後は全患者についても同様の対応が求められます。

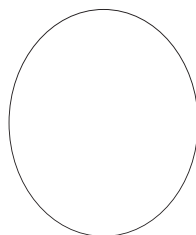
# エコー・リレー

( 44 回 )

( 南から北へ北から南へ )

## 快適自転車生活

宮崎市 ごとう整形外科 後 藤 啓 輔



もう最近ではなくなったが、クロスバイクもどきを景品で頂いたため、メタボ予防も兼ねて平成 15 年より自転車通勤を始めた。このチャリは、平成 1 年に路地から出てきた高校生のチャリと衝突し、廃車

となり、また、私も左手舟状骨骨折を負い今も舟状骨内にチタンスクリューが入っている。

次に Yahoo!オークションで、15,000 円のマウンテンバイクもどきを落札しジテ通を再開したが、ママチャリ以上の重さに閉口し、HINO サイクルで TREK のクロスバイクを購入した。自動車では、かつてカタログ上で十数馬力アップの雑誌のデータに踊らされて、マフラー交換してみたが、うるさくなっただけで体感加速はほとんど変わらなかったが、この時のペダルひと漕ぎ目で、同じ自転車でも違う乗り物のような軽さに感動した。車と違い駆動力は、私の非力な脚力なのでより、違いが判るのかもしれない。

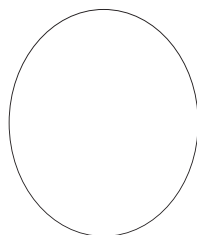
これがきっかけとなり、あの感動を忘れられず、定番のステップアップ路線(クロスバイクからロードバイク)にはまった。KUOTA のロードバイクに入れ替えビンディングペダルを装着したが、これも前回以上にびっくりした。

最近では、乗り心地の改善目的でチューブレスタイヤに、巡航速度のアップ目的でセラミックベアリングに交換したが、どちらも明らかな違いを体感でき自己満足している。しかし、パーツもたくさんあり当分の間、飽きそうにない。

〔 次回は、宮崎市の牧元 宏先生をお願いします 〕

## 黄金バット

高鍋町 内田医院 栗 田 正 弘



ある子どもさんが予防接種に来た。恐怖で泣き叫ぶのを母親が抱きかかえ、何とか注射出来た。その後、母親が子どもの頭を優しくなげながら診察室を後にした。

その光景を見て昔の事を思い出した。幼稚園の頃、高熱を出し母親に連れられて病院に行った。病院特有の消毒液のにおい、マスクをしたお医者さん。診察室の丸椅子。机上の聴診器や注射器等、その時の非日常的情景が今でも妙な緊張感を伴って思い出される(今でも他の病院を受診すると緊張で血圧が上がるのはその記憶のせいかもしれない)。

風邪と診断され薬をもらって病院を出た。母親は「よく頑張ったね」と言って私をおんぶしてくれた。帰る途中、おもちゃ屋さんの前を通った。母は「ご褒美に何か買ってあげるね」とお店に立ち寄り、前からほしかったセルロイドの「黄金バット人形」を買ってくれた。そして嬉しさにその人形をしっかりと握りしめた私を、またおんぶして帰ってくれた。唯それだけの事なのだが、その時の母の背中の中のほんのりとした心地よさと金色の黄金バットの人形の事が、良き思い出としてずっと心に残っている。

「昭和は遠くなりにつれ」。大学生の大半が平成生まれとなった。もしかして私も年を取ってしまったのか、夕日を見ながら実家の寺の鐘をつく時や、夜一人、部屋で焼酎を飲む時等に、昔の事が無性に懐かしく思い出されるこの頃である。

〔 次回は、都城市の駒田 直人先生をお願いします 〕



## あなたできますか？

— 平成 23 年度 医師国家試験問題より —

( 解答は 51 ページ )

1. 4 歳の男児。5 日前から続く強い腹痛と血便とを主訴に来院した。昨日から尿量が減少したという。体温 38.2。脈拍 120 分、整。血圧 120/80mmHg。呼吸数 18 分。SpO<sub>2</sub> 96% (room air)。顔面は蒼白である。眼球結膜に軽度の黄染を認める。前脛骨部に pitting edema を認める。尿所見：蛋白 3+、糖 (-)、沈渣に赤血球多数 / 視野。血液所見：赤血球 298 万、Hb 7.0g/dl、Ht 23%、白血球 23,000/μl 桿状核好中球 8%、分葉核好中球 58%、単球 7%、リンパ球 30%、血小板 5 万。末梢血塗抹標本で破碎赤血球を認める。血液生化学所見：尿素窒素 40mg/dl、クレアチニン 1.1mg/dl (基準 0.2~0.4)、総ビリルビン 3.5mg/dl、AST 45U/L、ALT 16U/L、Na 128mEq/L、K 5.5mEq/L、Cl 97mEq/L。

保護者への説明で適切なのはどれか。3 つ選べ。

- a 「抗菌薬が有効です」
- b 「まず、点滴で治療を開始します」
- c 「脳に障害が出る可能性があります」
- d 「病原菌のつくる毒素が原因です」
- e 「ほとんどの患者さんには透析が必要になります」

2. 乳幼児の身体診察の一般的な順序として正しいのはどれか。

- a 頭頸部 → 胸部 → 腹部
- b 頭頸部 → 腹部 → 胸部
- c 胸部 → 頭頸部 → 腹部
- d 胸部 → 腹部 → 頭頸部
- e 腹部 → 胸部 → 頭頸部
- f 腹部 → 頭頸部 → 胸部

3. 48 歳の女性。28 歳で筋萎縮性側索硬化症 (ALS) を発症し、35 歳で人工呼吸器を装着した。眼瞼・眼球運動機能が残存しているため開閉眼で意志疎通を行うことができ、コンピュータやインターネットを駆使して地域の患者会の会長をしている。

国際生活機能分類 (ICF) によるこの患者の評価で正しいのはどれか。

|   | 機能障害 | 活動制限 | 参加制約 |
|---|------|------|------|
| a | あり   | あり   | あり   |
| b | あり   | あり   | なし   |
| c | あり   | なし   | なし   |
| d | なし   | あり   | なし   |
| e | なし   | なし   | あり   |
| f | なし   | なし   | なし   |

次の文を読み、4、5 の問いに答えよ。

3 歳の男性。風邪が治らないことを主訴に来院した。

現病歴：8 日前に全身倦怠感と咽頭痛とが出現した。風邪をひいたと考え、数日は睡眠を長めにとって様子を見ていたが、改善しなかった。4 日前から耳閉感が出現し、37.5 の発熱もみられた。2 日間仕事を休み、市販の総合感冒薬を服用していたが、症状が改善しないため受診した。鼻汁、鼻閉感および咳はない。頭痛はないが、頸部から後頭部にか

て重たい感じがあるという。

既往歴：スギ花粉症

生活歴：妻との 2 人暮らし。事務職。喫煙歴はない。飲酒は機会飲酒。

家族歴：父親が高血圧症で薬物治療中。母親が糖尿病で食事療法中。

4. 身体診察を開始しようとしたときに、患者が「市販の風邪薬では治らなかったの、風邪に効く抗生物質を出していただけますか」と尋ねてきた。

現時点の医師の返答として最も適切なのはどれか。

- a 「抗生物質は風邪には効果がありません」
- b 「抗生物質は副作用があるので出しません」
- c 「抗生物質を出すか出さないかは、私が決定します」
- d 「抗生物質が必要かどうか、診察の後で説明します」
- e 「医学用語では抗生物質ではなく抗菌薬と言います」

5. 現症：意識は清明。身長 165cm、体重 60kg。体温 37.4。脈拍 88 分、整。血圧 126/80mmHg。咽頭粘膜に発赤を認めない。口蓋扁桃は軽度に腫大している。両側の胸鎖乳突筋の後縁に、径 1cm の軟らかく圧痛のないリンパ節を 2、3 個ずつ触知する。

肝と脾との腫大をみるために腹部診察を行おうとしたところ、患者が「おなかの診察までするのですか」と尋ねた。

現時点の医師の対応で最も適切なのはどれか。

- a 他の医師に交代することを患者に提案する。
- b 腹部の診察は行わずに身体診察を終了する。
- c 質問には返答せず、そのまま腹部の診察を続ける。
- d 診察を中断し、腹部診察の必要性について説明する。
- e 身体診察では医師の指示に従う必要があると説明する。

6. 38 歳の初妊婦。妊娠 36 週。頭痛を主訴に来院した。妊娠 34 週までは特に異常を指摘されていなかった。1 週前に軽い頭痛を自覚し、自宅で様子を見ていたが次第に増強してきたため受診した。血圧 160/110mmHg。全身に浮腫を認める。尿蛋白 2+。胎児心拍数陣痛図で胎児機能不全と診断し、緊急帝王切開で 2,600g の女児を娩出した。術後 8 時間を経過した時点で、褥婦が強直性間代性けいれんをきたした。

治療薬の有効成分はどれか。

- |      |      |
|------|------|
| a Na | f Mg |
| b K  | g Cu |
| c Cl | h Fe |
| d Ca | i Zn |
| e P  |      |

## 宮崎県感染症発生動向 ～ 4 月 ～

平成 24 年 4 月 2 日～平成 24 年 4 月 29 日( 第 14 週～ 17 週 )

## ■ 全数報告の感染症

1 類：報告なし。

2 類 結核 17 例が報告された。保健所別報告数を【図 1】に示した。患者が 12 例，疑似症患者が 2 例，無症状病原体保有者が 3 例で，患者は肺結核が 7 例，肺結核と結核性胸膜炎の併発，肺結核と腸結核の併発がそれぞれ 1 例，その他の結核（結核性胸膜炎，リンパ節結核）が 3 例であった【表 1】。男性 4 例，女性 13 例で，年齢別報告数を【表 2】に示した。

3 類 腸管出血性大腸菌感染症 1 例が高鍋保健所から報告された。70 歳代の女性で腹痛，水様性下痢，血便がみられた。原因菌の O 血清型は O157<sub>VT1,VT2</sub>（産生）。

4 類 ○レジオネラ症 日南保健所管内で 1 例報告された。80 歳代の男性で，肺炎型。発熱，下痢，せん妄がみられた。

5 類 ○アメーバ赤痢 宮崎市保健所管内で 1 例報告された。

50 歳代の男性で腸管外アメーバ症。発熱，右季肋部痛，肝膿瘍がみられた。

○ウイルス性肝炎（B 型） 宮崎市保健所管内で 1 例報告された。30 歳代の男性で全身倦怠感，肝機能異常，黄疸がみられた。

○劇症型溶血性レンサ球菌感染症 宮崎市保健所管内で 1 例報告された。40 歳代の男性でショック，肝不全，腎不全，急性呼吸窮迫症候群，DIC，中枢神経症状がみられた。血清群は B 群。

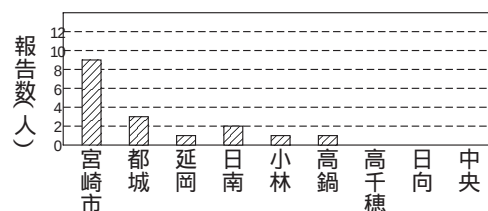


図 1 保健所別報告数(結核)

表 1 結核の病型及び報告数(人)

|             |   |
|-------------|---|
| 肺結核         | 7 |
| 肺結核及びその他の結核 | 2 |
| その他の結核      | 3 |
| 疑似症患者       | 2 |
| 無症状病原体保有者   | 3 |

表 2 結核の年齢別報告数(人)

| 10歳代 | 20歳代 | 40歳代 | 60歳代 | 70歳代 | 80歳代 |
|------|------|------|------|------|------|
| 1    | 3    | 2    | 2    | 2    | 7    |

## ■ 5 類定点報告の感染症

定点からの患者報告総数は 4,905 人( 定点あたり 126.7 )で，前月比 76% と減少した。また，例年と比べると 78% と少なかった。

前月に比べ増加した主な疾患はヘルパンギーナと感染性胃腸炎で，減少した主な疾患は，RS ウイルス感染症とインフルエンザであった。また，例年同時期と比べて報告数の多かった主な疾患は咽頭結膜熱であった。

## ■ 病原体検出情報(微生物部)

| 検出病原体        |                                | 件 | 臨床症状等                                                  |
|--------------|--------------------------------|---|--------------------------------------------------------|
| ウイ<br>ル<br>ス | ヒトメタニューモウイルス                   | 1 | 不明の集団かぜ，39.4，上気道炎                                      |
|              | パラインフルエンザ 1 型                  | 1 | 不明の集団かぜ，38.7，気管支炎                                      |
|              | インフルエンザ B 型                    | 1 | インフルエンザ B，38.3                                         |
|              | インフルエンザ A H3 型                 | 1 | インフルエンザ A，発熱                                           |
|              | エコーウイルス 9 型                    | 2 | ・不明の発疹症(エンテロ?)，38.6，上気道炎，丘疹，紅斑<br>・エンテロ(?)，39.0，咽頭炎，紅斑 |
|              | アデノウイルス 2 型                    | 1 | 不明の発疹症，上気道炎，紅斑                                         |
| 細<br>菌       | 腸管出血性大腸菌<br>(O157 HNM VT1, 2)  | 1 | 下痢，腹痛，嘔吐                                               |
|              | Bordetella pertussis<br>(百日咳菌) | 2 | ・発熱(38.0)，咽頭炎，気管支炎<br>・気管支炎，百日咳疑                       |

ヘルパンギーナの報告数は 34 人( 0.94)で前月の約 2.4 倍、例年と同程度であった。高鍋( 3.0)保健所からの報告が多く、年齢別では 6 か月から 2 歳で全体の約 8 割を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は 2,101 人( 58.4)で前月の約 1.4 倍、例年の約 9 割であった。小林( 112.3)、都城( 86.2)、延岡( 72.5)保健所からの報告が多く、年齢別では 1 歳から 4 歳が全体の約半数を占めた。

咽頭結膜熱の報告数は 93 人( 2.6)で前月の約 8 割、例年の約 1.1 倍であった。日南( 12.0)、延岡( 6.5)保健所からの報告が多く、年齢別では 6 か月から 3 歳で全体の約 8 割を占めた。

## ■ 月報告対象疾患の発生動向 4 月

### □ 性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数 13

定点医療機関からの報告総数は 36 人( 2.8)で、前月比 113%と増加した。また、昨年 4 月( 3.4)の約 8 割であった。

### 《疾患別》

○ 性器クラミジア感染症 報告数 24 人( 1.9)で、前月の約 1.1 倍、前年の約 9 割であった。日向( 5.0)保健所からの報告が多く、男性 8 人・女性 16 人で、20 歳代が全体の約半数、30 歳代が約 4 割を占めた。

○ 性器ヘルペスウイルス感染症 報告数 5 人( 0.38)で、前月の約 1.7 倍、前年の約 6 割であった。すべて女性で、40 歳代が 2 人、20 歳代・30 歳代・70 歳以上がそれぞれ 1 人であった。

○ 尖圭コンジローマ 報告数 3 人( 0.23)で、前月の 1.5 倍、前年の約 8 割であった。男性 2 人・女性 1 人で、20 歳代・30 歳代・60 歳代がそれぞれ 1 人であった。

○ 淋菌感染症：報告数 4 人( 0.31)で、前月及び前年の約 7 割であった。すべて男性で、30 歳代が 3 人、20 歳代が 1 人であった。

### □ 薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数 7

定点医療機関からの報告総数は 32 人( 4.6)で前月比 97%と横ばいであった。また、昨年 4 月( 7.6)の約 6 割であった。

### 《疾患別》

○ メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数 29 人( 4.1)で、前月と同程度、前年の約 8 割であった。70 歳以上が全体の約 7 割、60 歳代が約 2 割を占めた。

○ ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告数 2 人( 0.29)で、前月と同数、前年の約 1 割であった。0 歳と 30 歳代の報告であった。

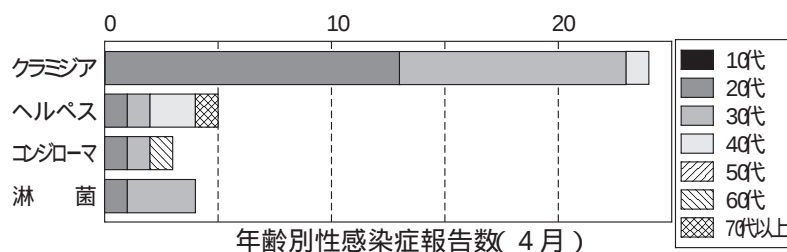
○ 薬剤耐性緑膿菌感染症：報告数 1 人( 0.14)で前月の約 3 割であった( 前年同月は報告なし)。70 歳以上の報告であった。

○ 薬剤耐性アシネトバクター感染症：報告はなかった。

### 前月との比較

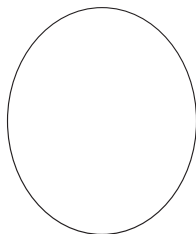
|           | 4 月        |              | 3 月        |              | 例年との比較 |
|-----------|------------|--------------|------------|--------------|--------|
|           | 報告数<br>(人) | 定点当<br>たり(人) | 報告数<br>(人) | 定点当<br>たり(人) |        |
| インフルエンザ   | 1,431      | 24.3         | 3,790      | 64.2         |        |
| RSウイルス感染症 | 21         | 0.6          | 129        | 3.6          |        |
| 咽頭結膜熱     | 93         | 2.6          | 114        | 3.2          |        |
| 溶レン菌咽頭炎   | 412        | 11.4         | 446        | 12.4         |        |
| 感染性胃腸炎    | 2,101      | 58.4         | 1,721      | 47.8         |        |
| 水痘        | 436        | 12.1         | 557        | 15.5         |        |
| 手足口病      | 4          | 0.1          | 6          | 0.2          |        |
| 伝染性紅斑     | 14         | 0.4          | 15         | 0.4          |        |
| 突発性発しん    | 171        | 4.8          | 153        | 4.3          |        |
| 百日咳       | 0          | 0.0          | 0          | 0.0          |        |
| ヘルパンギーナ   | 34         | 0.9          | 14         | 0.4          |        |
| 流行性耳下腺炎   | 144        | 4.0          | 264        | 7.3          |        |
| 急性出血性結膜炎  | 0          | 0.0          | 1          | 0.2          |        |
| 流行性角結膜炎   | 36         | 6.0          | 34         | 5.7          |        |
| 細菌性髄膜炎    | 2          | 0.3          | 1          | 0.1          |        |
| 無菌性髄膜炎    | 1          | 0.1          | 2          | 0.3          |        |
| マイコプラズマ肺炎 | 5          | 0.7          | 6          | 0.9          |        |
| クラミジア肺炎   | 0          | 0.0          | 3          | 0.4          |        |

例年同時期(過去 3 年の平均)より報告数が多い  
A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎



( 宮崎県衛生環境研究所 )

## メディアの目



## ドクターヘリ

NHK 宮崎放送局放送部長

おおむら しゅん や  
大 村 俊 哉

4 月ようやく宮崎県にも「ドクターヘリ」が導入されました。今年 2 月から訓練を繰り返し、それに伴う宮崎大学医学部附属病院の救命救急センターも発足しました。高速道路網が未発達な宮崎県では、救急患者が発生した時も搬送に時間がかかり、山間部などに住む県民にとっては、重症の怪我や病気の際に自分の命は助かるのか、という不安が少しは解消したことになります。しかし、宮崎県内には消防の救急隊が無い町・村が 7 つもあります。こうした地域では救急救命士がいないために役場の職員がドクターヘリを要請するかどうかの判断からドクターヘリが離発着する場所までの患者の搬送までを担っています。専門的な知識や経験が少ない役場の職員が的確な判断を下せるのか、ヘリポートまでの搬送をどれだけ短くすることができるのかなど、課題もまだまだ山積みです。

宮崎県の医療事情はまだまだ改善すべきことが沢山あると感じます。皆様に、今さらこのようなデータをご紹介するのは釈迦に説法かもしれませんが、厚生労働省が毎年発表する統計資料によれば人口 10 万人に対する医師の数は全国平均が 219.0 人(平成 22 年 12 月 31 日現在)です。これに対し宮崎県はというと 220.3 人と僅かでは

ありますが、全国平均を上回っています。しかし、この数字は決して喜んでいただけるものではなく、九州・沖縄 8 県の中では最下位。7 位の沖縄県 227.7 人に比べても 7 人以上の差があります。また、昔から言われている地域間格差の問題もあります。宮崎県でも、宮崎市の人口 10 万人に対する医師の数は 327.5 人。県全体よりも 100 人以上も上回っています。無医地区など簡単に診療を受けることが困難な方にとっては、病気を治療するだけではなく病気にかからないような予防や対策をしていただくことも必要です。去年、とある大規模医療機関を辞めて延岡市で個人の診療所を開業した方を私どもの番組で紹介させていただきました。患者が納得いくまで話を聞いた上で診療する。午後は往診に車を走らせる。夜は、地域のコミュニケーション作りに居酒屋を開きカウンセリングも行う。などなど、医師として懸命に仕事をする様子は視聴者からも沢山の反響がありました。

超高齢化社会を迎え、ますます医療の必要性が高まる現代。今後とも医師会の皆様においては、宮崎県の人々が住むところに関係なく健康で充実した日々を送られるように尽力したいと思います。

## 薬事情報センターだより ( 301 )

## 新薬紹介( その 55 )

今回は 4 月に薬価収載されたヒト型抗 RANKL モノクローナル抗体製剤ランマーク皮下注 120mg ( 一般名 : デノスマブ( 遺伝子組換え ) ) と選択的 直接作用型第 Xa 因子阻害剤イグザレルト錠 10mg ・ 15mg ( 一般名 : リバーロキサバン ) について紹介 いたします。

ランマーク皮下注 120mg ( 一般名 : デノスマブ ( 遺伝子組換え ) )

ランマークは、RANKL ( receptor activator for nuclear factor - $\kappa$ B ligand ) を標的とするヒ ト型 IgG 2E ノクローナル抗体製剤です。RANKL は膜結合型あるいは可溶型として存在し、骨吸 収を司る破骨細胞及びその前駆細胞の表面に発 現する受容体である RANK を介して破骨細胞の 形成、機能及び生存を調節する必須の蛋白質で す。多発性骨髄腫及び骨転移を有する固形癌の 骨病変においては、RANKL によって活性化され た破骨細胞が骨破壊の主要な因子です。デノス マブは RANK / RANKL 経路を阻害し、破骨細胞 の活性化を抑制することで骨吸収を抑制し、 がんによる骨病変の進展を抑制すると考えられ ています。

本剤は、米国において 2010 年 11 月に、骨病変 を有する進行がん患者の骨関連事象発現抑制に 関する適応症で製造販売承認されて以降、2011 年 12 月現在、日本を除く 4 つの国又は地域で本 適応について承認されています。本邦において は、2012 年 1 月に「多発性骨髄腫による骨病変及 び固形癌骨転移による骨病変」を効能・効果とし て製造販売承認され、4 月に発売されました。

第 Ⅲ 相臨床試験において、総症例 2,841 例中 827 例( 29.1% ) に副作用が認められました。主な ものは、低カルシウム血症 162 例( 5.7% )、疲労 78 例( 2.7% )、悪心 75 例( 2.6% )、関節痛 74 例( 2.6% ) 等でした( 承認時 )。また、重大な副作用としては、顎骨壊死・顎骨骨髄炎、重篤な皮膚感染症 が、また類薬の重大な副作用としては、大腿骨 転子下及び近位大腿骨骨幹部の非定型骨折が報 告されています。

イグザレルト錠 10mg ・ 15mg ( 一般名 : リバーロ キサバン )

イグザレルトは、ドイツ Bayer 社( 現 Bayer H ealthC are 社 ) で開発された経口第 Xa 因子阻害 剤です。経口投与により、選択的かつ直接的に 内因系及び外因系凝固カスケードの合流点に位 置する凝固因子である活性化血液凝固 因子 ( 第 Xa 因子 ) を阻害し、プロトロンビンからトロ ンビンへの転換を抑制することで、抗凝固作用 を発揮します。

本剤は、2008 年 9 月にカナダにおいて、世界 で初めての経口第 Xa 因子阻害剤として承認され て以来、2011 年 10 月 31 日時点で、113 か国で、「下 肢整形外科大手術施行患者における静脈血栓 塞栓症の発症抑制」を目的とした使用に対して 承認されています。本邦においては、日本人の非 弁膜症性心房細動患者を対象とした日本独自の 国内第 Ⅲ 相試験が実施され、その結果本剤 1 日 1 回投与による有効性と安全性が確認され、 2012 年 1 月に「非弁膜症性心房細動患者におけ る虚血性脳卒中及び全身性塞栓症の発症抑制」を 効能・効果として承認されました。

非弁膜症性心房細動患者を対象とした国内第 Ⅲ 相試験において、本剤 15mg クレアチニンクリ アランス 30~ 49 $\mu$ mol /m in の患者には 10mg が 1 日 1 回投与された 639 例中 326 例( 51.0% ) に副作 用( 臨床検査値異常を含む ) が認められました。 主な副作用は、鼻出血 88 例( 13.8% )、皮下出血 50 例( 7.8% )、歯肉出血 40 例( 6.3% ) 等でした( 承認 時 )。なお、重大な副作用として、出血、肝機能 障害・黄疸があらわれることがあります。

## 参考資料

ランマーク皮下注 120mg、イグザレルト錠 10mg ・ 15mg 各添付文書・

インタビューフォーム

( 宮崎県薬剤師会薬事情報センター

永井 克史 )

## 各都市医師会だより

## 延岡市医師会

会 長 まきの たか お  
牧 野 剛 緒

はじめに、当医師会は、新公益法人制度の改革に伴い 4 月 1 日付で一般社団法人へ移行致しました。また、本年 4 月より当執行部は 2 期目に入りました。体制としましては、県医師会常任理事の吉田建世副会長と佐藤信博副会長及び各理事のすべてが留任致しました。延岡看護専門学校については、このたび小川修校長が退任され、新たに野田寛先生が校長に就任致しました。小川先生には長い間職責を全う頂いたことに深く感謝申し上げます。

会長として大きなテーマが 2 つあります。一つは医師会病院の健全な運営、もう一つは救急医療の問題です。本年 2 月、国の地域医療再生特例交付金による夜間急病センターの増改築工事が終了しました。今後も初期救急医療体制を充実強化する必要があり、この 6 月より水曜日の内科深夜帯診療を新たに拡充致しました。これにより週 4 日の深夜帯診療の体制となりましたが、これは来年 3 月までの試行としての実施となります。この県北の医師不足状態では夜間急病センターの 365 日の深夜帯診療の実施は大変困難であり、今後は日向市東臼杵郡医師会との連携を密にしていかなければならないと考えております。

県立延岡病院の消化器科医と神経科医の不在に伴う輪番制については、平成 24 年 2 月より時間外消化管出血の輪番制が 4 病院（県病院を含む）で開始されております。これは全国でも異例となる医師会員による輪番制で、平成 24 年 3 月までに 27 名（0.24 名 / 日）の患者が搬送されました。また、脳血管障害患者の輪番制については、平成 24 年 4 月より会員の 5 施設で開始し、平成 24 年 3 月までに 1,469 名（1.34 名 / 日）の患者が搬送されております。

宮大附属病院内救命救急センターのドクターヘリの運用が 4 月 18 日より開始され、早速、延岡市医師会病院より食道静脈瘤破裂の患者がドクターヘリにより宮大に搬送されました。来年には県立延岡病院ではヘリポートを完備した救命救急センターが完成の予定です。今後、県北においては重症患者のドクターヘリへの要請が増加するものと考えております。

県と延岡市による東九州メディカル構想と延岡市メディカルタウン医療技術等研究支援事業に基づく寄附講座が開設され、2 月 1 日付で宮大医学部血液・血管先端医療学講座の教授に藤元昭一先生が就任されました。県北に多い慢性腎臓病の治療に貢献いただけるものと期待しております。

最後に延岡市では、「健康長寿のまちづくり」を行うための延岡市民運動行動計画が策定されました。今後ますます高齢化が進み、医療や介護への負荷はさらに増大していきます。我々もこの行動計画に賛同し、「健診」、「予防」等の地域医療を守る取組みに協力して参ります。

以上、2 期目のご挨拶と致します。

延岡市医師会新役員

## 役 員 名 簿（任期 平成 24 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日）

| 役職名 | 氏 名   | 診 療 科                     | 所 属 医 療 機 関 | 担 当 業 務                 |
|-----|-------|---------------------------|-------------|-------------------------|
| 会 長 | 牧野 剛緒 | 外科，内科，胃腸科                 | 黒木病院        | 統括，渉外                   |
| 副会長 | 吉田 建世 | 精神科，神経科                   | 吉田病院        | 県医師会理事，医師会病院，総務         |
| 〃   | 佐藤 信博 | 整形外科，麻酔科，<br>リハビリテーション科   | あたご整形外科     | 看護学校，地域医療，医療行政，<br>医事紛争 |
| 理 事 | 大地 哲史 | 外科                        | 県立延岡病院      | 学術，生涯教育，産業医，勤務医部会       |
| 〃   | 平野 雅弘 | 内科，消化器科，<br>胃腸科           | 平野消化器科      | 救急医療，急病センター             |
| 〃   | 江崎 豊  | 内科，胃腸科，小児科                | 江崎医院        | 広報，学校保健，看護師研修講座         |
| 〃   | 石内 裕人 | 内科，泌尿器科，<br>皮膚科           | 石内医院        | 公衆衛生，腎臓検診               |
| 〃   | 日高 孝紀 | 内科，消化器科，<br>小児科           | 北方医院        | 心臓検診，医療情報システム           |
| 〃   | 赤須郁太郎 | 外科                        | 共立病院        | 医療保険，文化厚生会員福祉           |
| 〃   | 溝口 直樹 | 内科，胃腸科，<br>呼吸器科           | みぞくち医院      | 会計，労務対策，庶務              |
| 〃   | 板野 晃也 | 内科，胃腸科                    | 板野内科・胃腸科医院  | 生活習慣病，健康教育              |
| 〃   | 宮本 義明 | 整形外科，リウマチ科，<br>リハビリテーション科 | 宮本整形外科      | 介護保険，介護福祉               |
| 監 事 | 藤本 孝一 | 内科，小児科                    | 藤本内科小児科医院   |                         |
| 〃   | 市原 正彬 | 整形外科，リウマチ科                | 延岡整形外科医院    |                         |
| 〃   | 井上 博  | 産婦人科                      | 井上病院        |                         |
| 議 長 | 木下 義美 | 内科                        | 谷村病院        |                         |
| 副議長 | 川名 修徳 | 皮膚科                       | 川名皮膚科       |                         |

## 各都市医師会だより

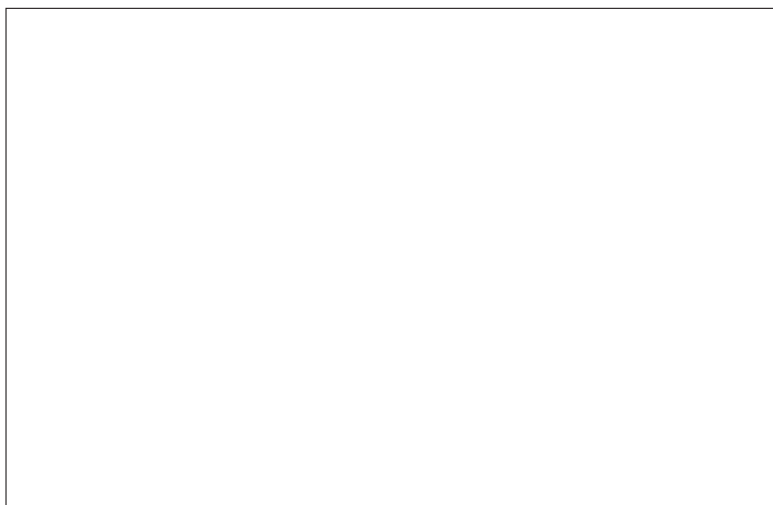
## 日向市東臼杵郡医師会

会 長 わた なべ やす ひさ  
渡 邊 康 久

平成 24 年 1 月 28 日に役員選挙が行われ、本年 4 月 1 日から 2 期目の会長職に就任致しました。今期は理事 12 名のうち 3 名の理事が入れ替わりました。また一般社団法人への移行により理事の職務執行の監査役として 2 名の監事が理事会に出席することになり、14 名の新体制でのスタートとなりました。過去 2 年間を振り返ってみますと 2 名の副会長をはじめ、各担当理事の御協力を得て、公益法人改革に伴う法人の移行、在宅当番医制における医療機関負担の軽減、午後 6 時以降の対応の見直し、さらに医療連携推進のために全医療機関に医療連携担当者を配置すること等懸案事項のいくつかを解決できたのではと思っています。

さて、当医師会の大きな事業として、看護高等専修学校、在宅サービス事業（訪問看護事業・ヘルパー事業・居宅介護支援事業）を行っていますが、看護高等専修学校については、受験者倍率が 3 倍近くになっており運営面では順調にいらっています。在宅サービス事業の 3 事業は、組織改編等により健全な財政運営がなされています。継続して力を入れていきたいと考えています。

なお、解決すべき課題はいろいろありますが、東日本大震災でクローズアップされてきました災害医療対応についての見直し、救急医療対応など早期に取り組むべき課題をはじめ、地域住民の高齢化に伴って医療需要が増大する中、施設の嘱託医としての対応や認知症患者の支援等新たな課題も出てきています。どの事業も会員の一致協力が不可欠です。幸い、当医師会は先輩の先生方の努力により、会員相互の信頼関係が築かれ何事にも一致協力できる体制ができています。この基盤をもとに、更なる連携、信頼関係を強化していくことで地域医療の充実を図りたいと考えています。微力ではありますが誠心誠意努めてまいりたいと思いますので、更なる御協力をお願い申し上げます。



日向市東臼杵郡医師会新役員

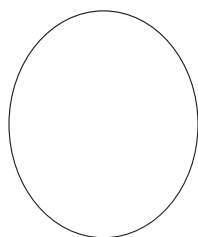
# 役 員 名 簿（任期 平成 24年 4 月 1 日～平成 26年の社員総会終結時まで）

| 役職名   | 氏 名   | 診 療 科           | 所 属 医 療 機 関   | 担 当 業 務                                                                |
|-------|-------|-----------------|---------------|------------------------------------------------------------------------|
| 会 長   | 渡邊 康久 | 内科，泌尿器科         | 三股病院          | 会務全般，渉外，看護高等専修学校校長，日向市東臼杵郡医師連盟委員長，日向市学校保健会会長，日向市保健所協議会委員，日向市初期救急診療所管理者 |
| 副会長   | 青柳淳太郎 | 循環器内科，内科        | 青柳内科循環器科      | 総務，看護高等専修学校副校長，看護研修会，日向市学校保健会理事                                        |
| 〃     | 古賀 正広 | 内科，胃腸内科，消化器内科   | 古賀内科胃腸科       | 総務，医事紛争，医師会会計，内科医会会長，医療安全対策委員長，日向市東臼杵郡医師連盟副委員長                         |
| 理 事   | 三股 俊夫 | 外科，内科，消化器内科，麻酔科 | 三股病院          | 介護保険，特定健診，在宅サービス運営委員長                                                  |
| * 〃   | 瀧井 修  | 精神科，内科          | 瀧井病院          | 地域医療，地域包括支援，成人保健（がん検診）                                                 |
| 〃     | 金丸 吉昌 | 内科，呼吸器科，循環器科    | 美郷町国民健康保険西郷病院 | 宮崎県医師会理事，勤務医                                                           |
| 〃     | 千代反田晋 | 外科，循環器内科，消化器内科  | 千代田病院         | 救急医療，災害時救急医療，医療関係者対策，外科医会理事                                            |
| 〃     | 尾崎 峯生 | 眼科              | 尾崎眼科          | 学術生涯教育，健康教育，広報，情報システム                                                  |
| 〃     | 今給黎 承 | 内科，循環器内科        | 今給黎医院         | 小児保健，心臓検診委員長，時間外救急診療対策委員会委員長                                           |
| * 〃   | 鮫島 貴  | 整形外科            | 鮫島整形外科医院      | 医療保険，会員福祉，産業医                                                          |
| * 〃   | 鮫島 哲郎 | 精神科，心療内科，内科     | 鮫島病院          | 公衆衛生感染症，予防接種，医の倫理向上，自浄作用                                               |
| 〃     | 家村 文夫 | 循環器内科，内科        | 家村内科          | 学校医，腎臓検診委員長                                                            |
| * 監 事 | 稲原 明肆 | 眼科              | 稲原眼科医院        |                                                                        |
| 〃     | 椎葉 睦生 | 整形外科，内科         | 天生堂医院         |                                                                        |
| 議 長   | 大久保史明 | 外科，消化器内科，肛門外科   | 大久保外科胃腸科医院    |                                                                        |
| 副議長   | 三ヶ尻榮一 | 整形外科            | 三ヶ尻整形外科医院     |                                                                        |

\* は新任

## 宮崎大学医学部だより

### 社会医学講座 - 公衆衛生学分野 -



くろだ よしき 教授  
黒田 嘉紀 教授

前任者の加藤貴彦教授にかわって私が担当することになって5年が経とうとしています。昨年から教室員が1名加わり、私も含めて4人体制となりました。

臨床の教室と異なり、このように少人数の体制で現在研究、教育にあたっております。

この5年間に当教室では色々なことに取り組んで参りました。まず教育の面では、実習に力をいれ、日々地域医療に携わっておられる先生方の下に学生を送り、実際の地域医療とは何かを身をもって経験する実習を行っています。地域医療の重要性について、地域の先生方や患者様から良い影響を頂いているようで、お陰をもちまして有意義な実習が行えております。お世話になっております先生方には厚くお礼申し上げます。

実習の実際は、椎葉、西米良、東米良、五ヶ瀬、美郷、日南、小林、北郷の医療施設に、2泊3日程度お世話になり、日々の診療を見せて頂いたり、往診に同行したり、住民と触れ合いの時間を持ったりと、盛りだくさんな内容で、医学生として将来財産となる経験をさせていただいております。しかし医師不足の折、医学部定員の増加に伴い、実習施設を増やす必要に迫られております。ご協力いただける先生があられましたら、是非ご連絡いただければと思います。地域医療は特別なものでなく、まさに日

常の診療そのものです。先生方の日々の診療を見せていただき、地域医療の意義や先生方の志をお話しいただければ、学生たちには貴重な経験となります。是非ご協力いただきたくお願い申し上げます。

次に研究の面では、昨年来、環境省が中心になって実施しております「子どもの健康と環境に関する全国調査」(エコチル調査)を公衆衛生学教室、小児科学教室、産婦人科学教室共同で委託を受け、延岡市で行っております。この調査は、妊娠時から出生を経て1歳になるまで追跡する調査で、全国で10万人の協力を得て行うものです。延岡市では年間600名、3年間で1,800名の協力を得て調査を行います。初年度の昨年は延岡地区の産科施設の多大な協力を得て、予定通り600名の協力が得られました。この場をお借りして、ご協力いただいております施設の方々には感謝申し上げます。協力者のリクルートは来年まで続きます。その後は追跡調査になりますが、今後も医師会の先生方にはご協力いただくことが多々あると思います。その折はよろしく願いいたします。

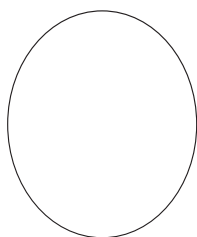
上記のような大きな調査を行い、多くの時間が費やされるため、他の研究が進まないことが教室にとって最大の問題です。鉱物油の研究、生活習慣病と遺伝子の研究、就業者の睡眠の研究、どれも行いたい研究ばかりです。是非多くの方に興味を持っていただき、大学院に若い力を結集して今後も行っていきたいと考えております。

最後になりましたが、医師会の先生方には今後ともご指導、ご鞭撻よろしくお願い申し上げます。

(黒田 嘉紀)

## 専 門 分 科 医 会 だ よ り

### ( 産 婦 人 科 医 会 )



は ま だ ま さ お  
濱 田 政 雄 会 長

宮崎県産婦人科医会は、  
現在会員数 129 名で構成され  
主に産婦人科臨床に携わる  
医師集団です。発足時は他  
科と同様に開業医主体でし  
たが、現在では勤務医が数  
多くを占めており、開業医  
は 60 名(うち高齢会員 13 名)

と減少し、尚且つこの 10 年内の開業形態は分娩  
を取り扱わない無床診療所のみとなっています。  
医療内容も格段の進歩を見せ、周産期管理では  
トラウベの時代から胎児心拍陣痛図が必須の管  
理となりました。胎児発育は、子宮底長・腹囲  
計測から超音波計測となりました。外見での判  
断から、内部を診るより正確な診断学になった  
わけです。しかしながら医療スタッフも含め、  
正しい即時の判断が求められることの多い臨床  
の現場に活かし切れていないのが現状です。そ  
のため、産婦人科は日本医師会医師賠償責任保  
険の紛争事例が医師数に比して多い状況が続い  
ています。その意味で 3 年前に始まった産科医  
療補償制度により紛争事例の減少することが期  
待されます。この成否が、各科に渡る無過失補  
償制度の創設への流れを導くことになるものと  
思います。産科医療補償制度の中での原因分析  
委員会報告は医師のみならず、患者家族にもそ  
のまま開示されています。その結果として医事  
紛争が減るか否かを補償制度参加医療機関と  
して注目しているところです。

さて、正常経過中に突然異常となる周産期管  
理は日進月歩であり、宮崎県産科医療レベルの  
維持・向上のため、宮崎大学医学部産婦人科教  
室の協力で年 1 回ひむかセミナーと銘打ってス

タッフ対象の講演会を行っており、今年 3 月で  
第 16 回を数えました。県下 40 数施設の開業医療  
機関から二百数十名の参加があり、正常新生児  
への初期対応から合併症妊娠・胎児奇形等実地  
の臨床に役立っていると考えています。宮崎県  
の周産期ネットワーク体制は、このスタッフ研  
修と二次三次病院による周産期症例検討会およ  
び行政との周産期医療協議会の三本の柱によっ  
て支えられています。

婦人科臨床においては、一昨年から始まった  
子宮頸ガンワクチン接種が大きな動きといえま  
す。当初は、ワクチンが浸透するだろうかと不  
安がありましたが、県医師会の主催による講演  
会も開催され、また未性交と考えられる若年者  
への接種公費負担が始まり、関心が高まってい  
ることは喜ばしいことと思います。今年度中に  
定期接種化されそうな話であり、若年者にとっ  
ては子宮頸ガンが 20 歳代のガン発病の 4 分の 1  
を占めることを考えるとまさに朗報であるとい  
えます。内科・小児科の先生方での接種が多い  
ことから、接種 3 回目には“ 20 歳を過ぎたら子  
宮ガン細胞診検査を受けるように ” と勧めて頂  
くようお願い申し上げます。

年頭の挨拶でも触れましたが、児童虐待死の  
中で 0 歳児が半数を占めるようになっていま  
す。産婦人科は、望まない妊娠をした母親からの  
出生児の虐待死が多いことから、何らかの助けと  
なるべく今年度以降の事業の一つとして“ 妊娠  
等についての相談窓口(望まない妊娠を含む)”  
を設けていくこととしました。他科の先生方  
には何かとお世話になることと存じますがよろし  
くお願い申し上げます。

( 濱 田 政 雄 )

## 九州医師会連合会第 324 回常任委員会

と き 平成 24 年 4 月 7 日(土)

ところ シェラトン・グランデ・オーシャンリゾート

九州医師会連合会会則により、九州各県医師会長で構成される常任委員会が今年度初めて宮崎県で開催された。

まず、前九医連担当県である佐賀県の池田会長が昨年度 1 年間の協力に対し、お礼の挨拶を行い、引き続き担当県の稲倉会長が前年度担当県の佐賀県に対するお礼を述べると共に、「TPP への参加」、「社会保障と税の一体改革」等、政治情勢が混沌とする中で国及び地方の財政は逼迫しており医療機関にとっても厳しい 1 年となることが予想されるが、諸問題に対して九州各県と連携を図り対応していくので、ご支援ご協力をお願いしたい旨の挨拶を行った。

### 協議事項

1. 九州医師会連合会長・同副会長の互選について(宮崎)

平成 24 年度九医連会長には、九医学担当県の宮崎県稲倉会長が、副会長には次年度担当県の沖縄県宮城会長が互選された。

2. 九州医師会連合会監事の選定について(宮崎)

平成 24 年度九医連監事については、担当県の隣接県である大分県、鹿児島県から選出することが承認された。

3. 第 325 回常任委員会並びに第 103 回定例委員総会の開催について(宮崎)

常任委員会を 5 月 19 日(土)午後 4 時から、また定例委員総会を午後 5 時から宮崎観光ホテルで開催し、平成 23 年度九医連決算、24 年度同事業計画および同予算等の議事を行うことが承認された。

4. 第 326 回常任委員会の開催について(宮崎)

例年通り「九州各県保健医療福祉主管部長・九州各県医師会長合同会議」の開催に合わせ、6 月 1 日(金)の 16 時からホテル日航福岡で常任委員会を開催することが承認された。

### 報告事項

1. 平成 24 年度九州医師会連合会行事予定について(宮崎)

宮崎県稲倉会長から、今年度の関連行事について日程の報告が行われた。なお九医学総会・医学会は、11 月 24 日(土)・25 日(日)に宮崎市及びその近郊で開催する。

2. その他

- 1) 宮崎県泌尿器科医会の要望について(宮崎)

宮崎県稲倉会長より、本県の泌尿器科医会から九医学分科会へ加わりたいとの要望があった旨の報告が行われた。その後九州各県の状況並びに意向を確認したところ、宮崎県以外の九州各県で具体的な動きはなく、九医学分科会への参加については、本来であれば公開講座等を除いて、九州各県の了解を得てから正式に分科会として継続的に開催していくことが望まれるが、学会参加の機会や参加者を増やす意味からも、その判断については担当県の判断に委ねることとなった。

- 2) 日本医師会横倉義武会長就任について

(宮崎)

宮崎県稲倉会長より、本日の常任委員会終了後の記念写真撮影から日医横倉会長が参加される旨の報告が行われ、今回、選挙対策本部長を務められた福岡県松田会長が

ら九州各県の協力に対しお礼の挨拶が行われた。

3) 管内矯正施設における医療に係る懸案について(福岡)

福岡県松田会長から、福岡矯正管区の矯正施設の医師について、定員 48 名のところ 1 名が欠員している等の報告があり、重ねて協力依頼が行われた。

4) 九医連からの慶祝について(宮崎)

・横倉義武日本医師会長候補選挙対策本部  
報告会

5) 九医連からの弔慰について(佐賀、宮崎)

・日医有床診療所に関する検討委員会委員、  
元佐賀県医師会副会長の美川隆造先生  
・鹿児島県医師会顧問、元鹿児島県医師会  
長の鮫島耕一郎先生

出席者—稲倉会長、大重事務局長、  
與・竹崎課長、牧野主事

## 宮崎県医師会メーリングリストのご案内

宮崎県医師会では「MMA 通信」と「会員交流用メーリングリスト」の 2 本立てでのメーリングリストの運用をしています。

### MMA 通信

目的：県医師会から会員への情報提供(各種通知文書、研修会の案内等)

対象：会員本人、医療機関代表のアドレスなど

### 会員交流用メーリングリスト

目的：会員同士の意見交換、会員からの情報提供

対象：会員本人のみ

災害が発生した場合、情報の収集および発信手段は複数確保することが必要です。  
まだ登録されていない会員はぜひご登録をお願いします。

問合せ先：宮崎県医師会 地域医療課

TEL 0985-22-5118

## 告 知

## 第 15 回宮崎県医師会定例代議員会開催

と き 平成 24 年 6 月 23 日(土) 15: 30~

ところ 宮崎県医師会館 5 階会議室

## 次 第

1. 議長開会宣言
2. 議事録署名人選出
3. 県医師会長挨拶

## 4. 報 告

- 1) 公益社団法人への移行について
- 2) 平成 23 年度事業報告について
- 3) 平成 24 年度事業計画について
- 4) 平成 24 年度収支予算について
- 5) その他

## 5. 議 事

議案第 1 号 平成 23 年度収入支出決算に関する件

## 6. 協 議

- 1) 本会顧問の委嘱について
- 2) 本会名誉会員の委嘱について
- 3) 平成 24 年度日医社保指導者講習会復講等の開催について
- 4) 宮崎県医師会 JM A T 支援金収支等について
- 5) その他

## 7. その他

## 8. 議長閉会宣言

## ご 案 内

第 69 回定例総会を下記のとおり開催しますので、  
ぜひご出席ください。

## 平成 24 年度第 69 回宮崎県医師会定例総会

と き 平成 24 年 6 月 23 日(土) 17: 00~ 17 50

ところ 宮崎県医師会館 2 階研修室

## 次 第

1. 開 会
2. 物故会員に対する弔意黙祷
3. 県医師会長挨拶
4. 役員紹介
5. 来賓祝辞及び来賓紹介(祝電披露)
6. 宮崎県医療功労者知事表彰
7. 退任役員表彰

## 8. 在任 10 年都市医師会長表彰

## 9. 永年勤続代議員表彰

## 10. 永年勤続職員表彰

## 11. 各種祝賀(高齢会員並びに各種表彰)

## 12. 閉 会

クールビズでの開催となります。

飛鳥 境港クルーズ

## 日医インターネットニュースから

### ■ 医師会病院は公的位置付け必要

— 葉梨常任理事 —

葉梨之紀常任理事は 2 期目に当たってメディアファックスの取材に応じ、全国の医師会病院の重要性を指摘した上で「医師会病院をできれば公的病院の位置付けにしたいと思っている」と述べ、実現に向けて尽力する意思を強調した。

— 医師会病院についてはどのような方針で臨みますか。

葉梨常任理事 できれば公的病院の位置付けにしたいと思っている。医師会病院が公的でないということで自治体からの援助が少ない。医師会病院は、急性期、慢性期、維持期、高齢者医療を平行して一生懸命取り組んでいる。その点が他の公立、公的病院とは違うと思う。アンケートでも地域の住民から支持されており、公的病院という位置付けで自治体が補助すべきという結果が見られる。そういう位置付けができるように働き掛けたいと思っている。

( 公的病院としての位置付けは ) 省令改正でできる。開設者の問題があるので仕組みを変えないといけないが、省令改正の範囲でできている。

— 地域医療支援病院の要件見直しも求めています。

葉梨常任理事 医師会病院は紹介率が 90% を超えているところが多い。他にも地域医療支援病院を取っているところがあるが、地域医療支援病院の役割を果たしているのか検証する必要があるのではないかと。本来の目的で紹介率から考えると、医師会病院が中心になるべきだ。

— 医師賠償責任保険も担当です。

葉梨常任理事 医師会の予算の半分近くを使っている重要な事業だ。患者、家族には、医師は全てオールマイティーでできるという意識がある。医療は患者の状態などによって不確実性が

あるという認識を持ってもらうことも必要だ。

( 平成 24 年 5 月 18 日 )

### ■ 麻しんの検査診断、正確に

— 厚科審・麻しん小委員会が初会合 —

厚生労働省の厚生科学審議会・感染症分科会感染症部会に設置された「麻しんに関する小委員会」は 5 月 1 日に初会合を開き「麻しんに関する特定感染症予防指針」を見直すための議論を開始した。委員からは、麻しん排除に向けた取り組みを進めるためにも「麻しんの検査診断を正確に行うことが重要」との意見が出た。9 月ごろに小委員会で見直し案をまとめ、感染症部会で審議する。指針改定は年明け以降になる見通し。

委員長には川崎市衛生研究所長の岡部信彦氏が就任した。

麻しんの検査診断では、血液から IgM 抗体を測定する検査が行われているが、麻しん以外の発疹性ウイルス疾患に罹患している場合には偽陽性になることがあるため、確定診断を得るにはより精度の高い PCR 検査を実施する必要がある。

そのため厚労省は医療機関に対して、麻しん患者発生の届け出と合わせて、PCR 検査に必要な患者の検体( 血液・咽頭ぬぐい液・尿 ) を保健所に提出するよう呼び掛けている。

( 平成 24 年 5 月 22 日 )

### ■ HPV など 3 ワクチン定期接種へ

— 予防接種部会が第 2 次提言 —

厚生労働省の厚生科学審議会・感染症分科会予防接種部会( 部会長 = 加藤達夫・国立成育医療研究センター名誉総長 ) は 5 月 23 日、HPV や H1N1 など 7 ワクチンについて「広く接種を促進していくことが望ましい」とする第 2 次提言をまとめた。厚労省は 7 ワクチンのうち、ワクチン接種緊急

促進事業で公費助成している HPV、Hib、小児用肺炎球菌—の3ワクチンの定期接種化を優先したい考え。厚労省は予防接種法改正案の国会提出時期について「今国会を視野に目指す」としている。

今後は定期接種化に必要な財源の確保が課題になる。厚労省は予防接種の実施主体である市長会や町村会との調整を急ぐ構え。厚労省によると、HPVやHibなど3ワクチンの定期接種化には1,200億円の予算が必要だという。市町村は今のところ、財源確保について「まだ協議が必要だ」と慎重な姿勢を示している。

市町村の財源案の一つに、年少扶養控除の廃止などに伴う地方増収分が浮上している。計算上、地方増収分で3ワクチンの定期接種に必要な額を工面できるが、増収分の使い道は市町村に委ねられているため、今後の調整で市町村の理解が得られるかどうかが鍵になる。

●接種年齢を超えた人にも予防接種を

また厚労省は予防接種部会で、免疫機能の異常など、長期にわたる重篤な疾患で定期接種を受けられなかった人への対応案も示した。

予防接種法では「明らかな発熱がある人」「重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな人」への定期接種は適当ではないと定めている。現行制度では対象年齢を超えてしまうと、定期接

種として予防接種を受けられない。厚労省はそうした人への対応策として、接種年齢を超えても定期接種を受けられるようにする特例措置を設ける方針。（平成 24年 5月 25日）

■ドクターヘリ年間1万件以上出動  
— 11年度実績 —

日本航空医療学会(小濱啓次理事長)は5月25日、2011年度のドクターヘリ出動件数が1万2,923件となり、年間1万件を超えたと発表した。1999年10月から始まったドクターヘリ試行的事業の運航実績も含めると出動件数は累計6万94件になるが、この間の人身事故はゼロ。同学会は「安全運航によって多くの傷病者の救命に効果を上げたと思われる」としている。

11年度は2道府県に32機のドクターヘリが配備され、34か所の基地病院で運用された。

同学会がまとめた11年度のドクターヘリ運用状況によると、出動要請1万6,290件のうち、実際に出動したのは1万2,923件。時間外要請や天候不良、重複要請、出動前キャンセルなどの未出動件数が3,367件あった。

診療人数は1万2,239人で、交通事故や労働災害などの外傷が5,532人、急性冠症候群や大動脈解離・大動脈瘤などの心大血管疾患が1,454人、くも膜下出血、脳出血、脳梗塞などの脳血管疾患が1,880人などだった。（平成 24年 5月 29日）

このコーナーの記事は“日医インターネットニュース”から抜粋して掲載していますので、詳細を知りたい方は日本医師会ホームページでご覧ください。毎週火・金更新していますので全ての記事が閲覧できます。

日医インターネットニュースへのアクセス方法

日本医師会(<http://www.med.or.jp/>)にアクセス

日本医師会ホームページ右上のメンバーズルームをクリック

メンバーズルームに入る方法

ユーザー ID 会員 ID 番号(日医からの送付物の宛名シール下部に印刷されている10桁の数字)を0も含め、全て半角で入力

パスワード 先生の生年月日の6桁の数字を半角で入力  
例) 1931年5月1日生まれの場合、310501

## お 知 ら せ

## 諸 会 費 決 定 に つ い て

平成 24 年度の諸会費が下記のとおり決定しましたので通知致します。

( 県医諸会費 )

| 区 分                 |     | A 会 員                                                                                                                                          | B 会 員                                                                                                                                                                                                                                 | C 会 員                                                                                                                                                                                                                               |
|---------------------|-----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 県医会費                | 均等割 | 月額 7,000円                                                                                                                                      | 月額 3,000円<br>但し宮大医師会員は<br>月額 1,000円                                                                                                                                                                                                   | 月額 1,000円                                                                                                                                                                                                                           |
|                     | 所得割 | 別表 ( 前年同様 )                                                                                                                                    | —                                                                                                                                                                                                                                     | —                                                                                                                                                                                                                                   |
| 県医会館維持<br>管 理 負 担 金 |     | 別表 ( 前年同様 )                                                                                                                                    | —                                                                                                                                                                                                                                     | —                                                                                                                                                                                                                                   |
| 県医会館返済<br>資 金 負 担 金 |     | 別表<br>県医会館維持管理<br>負担金と同額                                                                                                                       | —                                                                                                                                                                                                                                     | —                                                                                                                                                                                                                                   |
| 入会時負担金              |     | 新規 A 会員 500,000円<br>管理継承者 100,000円<br>相続継承者 50,000円                                                                                            | 5,000円                                                                                                                                                                                                                                | —                                                                                                                                                                                                                                   |
| 日 医 会 費             |     | A 会員 126,000円( 年額 )<br>A 会員は病院 診療所の開<br>設者 管理者及びこれに準ず<br>る会員です。<br>第 1 期 42,000円( 5 月徴収 )<br>第 2 期 42,000円( 8 月徴収 )<br>第 3 期 42,000円( 12 月徴収 ) | A ( B 会員 82,000円( 年額 )<br>B 会員で医賠償保険適用会<br>員です。<br>第 1 期 27,000円( 5 月徴収 )<br>第 2 期 28,000円( 8 月徴収 )<br>第 3 期 27,000円( 12 月徴収 )<br><br>B 会員 28,000円( 年額 )<br>第 1 期 9,000円( 5 月徴収 )<br>第 2 期 10,000円( 8 月徴収 )<br>第 3 期 9,000円( 12 月徴収 ) | A ( C 会員 39,000円( 年額 )<br>C 会員で医賠償保険適用会<br>員です。<br>第 1 期 13,000円( 5 月徴収 )<br>第 2 期 13,000円( 8 月徴収 )<br>第 3 期 13,000円( 12 月徴収 )<br><br>C 会員 6,000円( 年額 )<br>第 1 期 2,000円( 5 月徴収 )<br>第 2 期 2,000円( 8 月徴収 )<br>第 3 期 2,000円( 12 月徴収 ) |

( 県医連諸会費 )

| 区 分    | A 会 員                                               | B 会 員                  |
|--------|-----------------------------------------------------|------------------------|
| 県医連負担金 | 年額 12,000円<br>( 5 月徴収 )                             | 年額 1,000円<br>( 5 月徴収 ) |
| 日医連負担金 | 10,000円( 5 月徴収 )<br>10,000円( 10 月徴収 )<br>合計 20,000円 | —                      |

## 会費の賦課額

別表 (県医所得割会費)

| 区 分 | 所得割算定基準額             | 所得割会費月額 |
|-----|----------------------|---------|
| 1   | 1,000万円未満            | —       |
| 2   | 1,000万円以上 2,000万円未満  | 1,000円  |
| 3   | 2,000万円以上 3,000万円未満  | 2,000円  |
| 4   | 3,000万円以上 5,000万円未満  | 3,000円  |
| 5   | 5,000万円以上 10,000万円未満 | 4,000円  |
| 6   | 10,000万円以上           | 5,000円  |

別表 (県医会館維持管理負担金)

| 区 分 | 所得割算定基準額            | 所得割会費月額 |
|-----|---------------------|---------|
| 1   | 1,000万円未満           | 1,500円  |
| 2   | 1,000万円以上 2,000万円未満 | 2,000円  |
| 3   | 2,000万円以上 3,000万円未満 | 2,500円  |
| 4   | 3,000万円以上           | 3,000円  |

別表 (県医会館返済資金負担金)

| 区 分 | 所得割算定基準額            | 所得割会費月額 |
|-----|---------------------|---------|
| 1   | 1,000万円未満           | 1,500円  |
| 2   | 1,000万円以上 2,000万円未満 | 2,000円  |
| 3   | 2,000万円以上 3,000万円未満 | 2,500円  |
| 4   | 3,000万円以上           | 3,000円  |

### 会費減免の申請について

#### (1)高齢を事由とする場合

高齢を事由とする会費減免は、日医会費は年齢が満 83 歳以上で医師会に 20 年以上在籍している会員が対象です。

県医会費は年齢が満 80 歳以上で医師会に 20 年以上在籍している会員が対象です。

平成 23 年度に会費減免を受け、平成 24 年度も会費減免を継続する場合、申請内容（例えば医賠償保険加入の有無等）に変更がない限り、本人の申請書は提出不要です。

#### (2)疾病の事由による場合

疾病による会費減免は、診断書（「写」でも可）の添付が必要です。

平成 23 年度に会費減免を受け、平成 24 年度も会費減免を継続する場合、改めて申請が必要です。

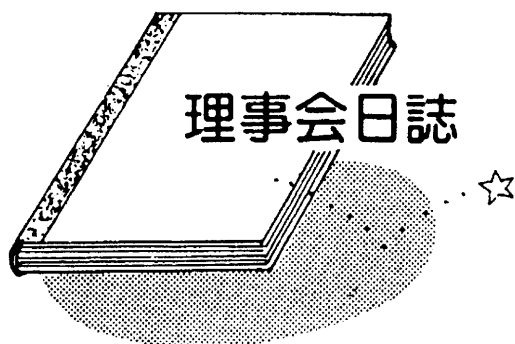
この場合も、申請書には診断書（「写」でも可）の添付が必要です。

#### (3)出産育児の事由による場合

出産育児の事由による会費減免は出産が確認できる書類（「写」でも可）の添付が必要です。

対象会員は、女性会員です。開業医・勤務医を問いません。育児休業取得・未取得を問いません。

減免期間は、日医会費は出産日の属する年度の翌年度 1 年間です。県医会費は申請翌月より 1 年間です。



平成 24 年 4 月 3 日(火)第 1 回常任理事協議会

医師会関係

(議決事項)

1. 本会外の役員等の推薦について

宮崎県重症難病患者入院施設確保事業における難病医療連絡協議会委員の推薦及び承諾について

→重症難病患者受入れの中心となる拠点病院及び基幹協力病院等の連携協力を図ることを目的に設置された協議会で、任期満了に伴う委員の推薦依頼があり、引き続き古賀常任理事を推薦することが承認された。

宮崎県立看護大学参与会委員の推薦について

→中長期的な大学運営の在り方を検討するため外部評価機関として設置されている参与会で、任期満了に伴う委員の推薦依頼があり、立元常任理事が就任することが承認された。

介護給付費審査委員会サービス担当者代表委員の推薦について

→適正な審査に資することを目的に設置された審査委員会で、任期満了に伴う委員の推薦依頼があり、引き続き石川常任理事を推薦することが承認された。

宮崎県寝たきり予防推進本部の委員の推薦及び就任について

→寝たきり予防対策の普及啓発並びに適切な地域リハビリテーション体制整備のため設置された推進本部で、任期満了に伴う委員の推薦依頼があり、引き続き石川常任理事を推薦することが承認された。宮崎県小児慢性特定疾患対策協議会委員の推薦及び就任について

→小児慢性特定疾患治療研究事業の適正かつ円滑な実施を図ることを目的として設置された協議会で、任期満了に伴う委員の推薦依頼があり、引き続き佐藤常任理事と高村一志先生を推薦することが承認された。

宮崎県准看護師試験委員の推薦について  
→任期満了に伴う 3 名の推薦依頼で、作成委員に牛谷常任理事と佐々木理事、調整委員に石川常任理事を推薦することが承認された。

2. 後援・共催名義等使用許可について

「リレー・フォー・ライフ宮崎inのべおか」に関する後援名義使用願い

→平成 18 年に茨城県つくば市で初めて開催され、九州では福岡・熊本・大分の 3 県 4 会場で実績があるが、本県では初めてとなることから、他県の状況を確認した上で、改めて検討を行うこととなった。

8 / 25(土) 福岡)福岡県赤十字血液センター創立 50 周年記念式典並びに平成 24 年度「血液懇話会」の後援依頼について

→「24 時間・献血者の願いが届く安全な輸血医療をめざして」を仮テーマに開催される懇話会で、名義後援を行うことが承認された。

6 / 18(金) 都城)九州アルコール関連問題学会宮崎大会後援のお願い

- 「アルコール関連問題と新たな潮流」をテーマに開催される学会で、名義後援を行うことが承認された。
3. 宮崎県ドクターヘリ導入記念シンポジウムにおけるパネリストの推薦について  
県民に広くドクターヘリの救急医療における効果や役割等について理解してもらうため開催されるシンポジウムで、古賀先生をパネリストとして推薦することが承認された。
4. 各都道府県医師会における死体検案等関連業務の分掌について  
日本医師会では、死体検案に関する研修会の実施や大規模災害発生時の検案体制の整備等の事業を進めて行くとしているが、不明な点も多いことから、具体的な資料等を入手したうえで、改めて本県医師会の対応を検討することとなった。
5. 宮崎県医師会広報委員会委員について  
県医師会の設置する委員会委員の任期満了に伴い、広報委員会は4月から活動を開始することから、他の委員会に先立ち新たな委員を委嘱することが承認された。
6. 平成 24 年度九医連・九医学に関して  
5 / 19(土) 宮観ホテル 九州医師会連合会第 32 回常任委員会並びに第 103 回定例委員総会の開催について  
→ 進行並びに報告、議事、協議について  
確認が行われ、予定通り 5 月 19(土)に開催することが承認された。
- ( 報告事項 )
1. 週間報告について
2. 3 月末日現在の会員数について
3. 3 / 28(木) 県庁 県腎臓バンク理事会について
4. 3 / 29(木) 宮大 宮大経営協議会について
5. 3 / 31(土) ~ 4 / 2(月) 東京 九州ブロック日医代議員連絡会議について

6. 4 / 1(日)・2(月) 日医 日医定例代議員会について
7. 3 / 28(木) 宮崎労働局 労災診療指導委員会について
8. 3 / 29(木) 県医 全国有診宮崎大会小委員会・シンポジスト打合会について
9. 3 / 28(木) 県庁 県災害医療関係者連絡会議について
10. 3 / 28(木) 県庁 県訪問看護推進協議会について
11. 3 / 29(木) 県庁 県地域・職域連携推進協議会について
12. 3 / 27(水) 県電ホール 県介護技術等向上連絡会議について
- 医師連盟関係  
( 議決事項 )
1. 自由民主党宮崎県支部連合会定期大会代議員名簿提出について  
稲倉委員長を含め役員を中心に、7 名の代議員を選出することが承認された。

平成 24 年 4 月 10(火) 第 2 回常任理事協議会

- 医師会関係  
( 議決事項 )
1. 本会外の役員等の推薦について  
宮崎大学医学部医の倫理委員会委員の推薦について  
→ 委員の辞任申し出に伴う後任の推薦依頼で、役員を中心に人選し、意向を確認した上で推薦することが承認された。  
宮崎県周産期医療協議会委員の推薦及び就任について  
→ 周産期医療体制の整備と諸問題の解決を目的に設置されている協議会で、引き続き、佐藤常任理事と濱田常任理事を推薦することが承認された。

- 看護師等の「雇用の質」の向上のための取組みに関する企画委員会の委員の推薦依頼について  
→ 役員の交代に伴う後任の推薦依頼で、牛谷常任理事を推薦することが承認された。
2. 後援・共催名義等使用許可について  
6 / 30(土)・7 / 1(日)第 31 回宮崎県糖尿病宿泊講習会後援願  
→ グループディスカッション等を取り入れた宿泊型の講習会で、例年に引き続き、後援を行うことが承認された。
3. 九州医師会連合会会員数等について  
会員数等は、事務局で確認後、報告することとなった。また、九医連常任委員並びに委員については、九医連会則により、常任委員は県医師会長をもってこれに充てる、委員は、日医代議員(本県は 4 名)、県医代議員会議長(1 名)及び県医師会理事 3 名以内をもってこれに充てるとなっていることから、規程に従い選出することが承認された。
4. 4 / 18(火)「日医」国民医療推進協議会主催「TPP 参加反対総決起大会」の開催について  
日本医師会館で開催される総決起大会で、本会から稲倉会長、富田副会長、古賀常任理事の 3 名が参加することが承認された。
- (報告事項)
1. 週間報告について
2. 4 / 7(土)「シェラトン」九医連常任委員会について
3. 4 / 9(月)「宮大医学部」宮大医学部附属病院救命救急センター開所式について
4. 4 / 10(火)「県後期高齢者広域連合会議室」県後期高齢者医療広域連合療養費適正化研究会について
5. 4 / 10(火)「県医」治験審査委員会について

## 医師連盟関係

### (議決事項)

1. 5 / 21(月)「宮観ホテル」希望ある未来を拓く」宮崎の明日を語るつどいについて  
小淵優子衆議院議員をゲストに招き開催される会で、協力することが承認された。しかし会の発起人にとの要請については、日医連の動向も勘案しお断りすることとなった。
2. 九州医連連絡会の役員について  
九州医連連絡会規約により、常任執行委員は県医師連盟委員長(委員長・副委員長を除く)、委員は、九州医師会連合会の委員となっていることから、県医師会の報告を確認した上で、規程に従い選出することが承認された。

### (報告事項)

1. 4 / 7(土)「シェラトン」九州医連連絡会常任執行委員会について

平成 24 年 4 月 17 日(火)第 3 回常任理事協議会

## 医師会関係

### (議決事項)

1. 後援・共催名義等使用許可について  
「リレー・フォー・ライフ宮崎 in のべおか」に関する後援名義使用願いについて  
→ 4 月 3 日に開催された常任理事協議会の結果を踏まえ、他県の状況を確認したところ、福岡県・熊本県・大分県でも医師会が名義後援等の対応を行っていることから、名義後援を行うことが承認された。
2. 本会外の役員等の推薦について  
宮崎県メディカルコントロール協議会委員及び会長候補の御推薦のお願いについて

- 平成 15 年から、消防機関と救急医療機関の更なる連携強化等を目的に設置されている協議会で、任期満了に伴う委員の推薦依頼があり、会長候補の委員に富田副会長、委員に古賀常任理事を推薦することが承認された。
3. 5/22(火) 宮観ホテル 宮崎大学医学部教授等と県医師会役員等との懇談会について  
例年、地域医療の問題等について意見交換を行うため開催されている懇談会で、日程及び進行等の確認が行われ、宮大学長をはじめとする関係者に開催案内を発信することが承認された。
4. 平成 24 年度宮崎県医師会事業計画について  
公益法人化に伴い、昨年の事業計画を 4 つの公益事業とその他の事業に分けた案を元に、文言等の確認が行われた。  
なお、定款第 6 条により、本会の事業計画書は理事会の承認を必要とするため、4 月 24 日に開催される第 1 回理事会に、文言修正を行った案を改めて提出することが承認された。
5. 平成 24 年度県立学校健康管理医報酬額について  
産業医としてではなく、学校教職員の健康管理のみであることを確認した上で、昨年度と同様の金額で承認することとなった。
6. 業務委託について  
肝炎ウイルスに関する検査事業の委託契約について  
→過去に肝炎ウイルス検査を受けたことがない 20 歳以上の宮崎県民(宮崎市民を除く)を対象に行われる事業で、昨年と同様の内容であることから契約を締結することが承認された。
- (報告事項)
1. 週間報告について
2. 4/1(火) 宮大医学部 県ドクターヘリ運行開始式について

## 5 月のベストセラー

- |                                       |           |         |
|---------------------------------------|-----------|---------|
| 1 置かれた場所で咲きなさい                        | 渡 辺 和 子   | 幻 冬 舎   |
| 2 実はスゴイ! 大人のラジオ体操                     | 中 村 格 子   | 講 談 社   |
| 3 舟を編む                                | 三 浦 しをん   | 光 文 社   |
| 4 この国で起きている本当のこと                      | 辛 坊 治 郎   | 朝日新聞出版  |
| 5 人間の基本                               | 曾 野 綾 子   | 新 潮 社   |
| 6 大往生したけりゃ医療とかかわるな<br>「自然死」のすすめ       | 中 村 仁 一   | 幻 冬 舎   |
| 7 それをお金で買いますか<br>市場主義の限界              | マイケル・サンデル | 早 川 書 房 |
| 8 「空腹」が人を健康にする<br>「一日一食」で 20 歳若返る!    | 南 雲 吉 則   | サンマーク出版 |
| 9 最後のバブルがやってくる<br>それでも日本が生き残る理由       | 岩 本 沙 弓   | 集 英 社   |
| 10 美木良介のロングブレスダイエット<br>1 週間即効ブレスプログラム | 美 木 良 介   | 徳 間 書 店 |

宮脇書店本店調べ 提供 宮崎店(宮崎市青葉町) ☎ (0985) 23-7077

# 

( 5 月 )

|    |                                                                                                |    |                                                                                                                  |
|----|------------------------------------------------------------------------------------------------|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1  | 第 4 回常任理事協議会( 会長他 )                                                                            |    | 地方公務員災害補償基金宮崎県支部審査会<br>( 河野副会長 )                                                                                 |
| 8  | 治験審査委員会( 富田副会長他 )<br>第 5 回常任理事協議会( 会長他 )                                                       | 22 | 第 1 回全理事協議会( 会長他 )<br>宮崎大学医学部教授等と県医師会役員等との懇<br>談会( 会長他 )                                                         |
| 9  | 宮崎政経懇話会( 会長 )<br>支払基金幹事会( 会長 )<br>県内科医会会計監査<br>宮崎市郡医師会例会・しのめ医学会( 会長 )                          | 23 | 労災診療指導委員会<br>県歯科保健推進協議会高齢期・障がい児者部会<br>( 石川常任理事 )                                                                 |
| 10 | 県健康づくり協会最初の評議員選考委員会<br>( 富田副会長 )<br>県産婦人科医会常任理事会( 濱田常任理事 )                                     | 24 | 県認知症高齢者グループホーム連絡協議会理事<br>会( 石川常任理事 )<br>県医療審議会( 会長他 )<br>広報委員会( 荒木常任理事他 )                                        |
| 11 | 労災部会会計監査<br>日本救急医学会九州地方会懇親会( 会長 )                                                              | 25 | 県学校保健会理事・評議員会( 会長他 )<br>県健康づくり協会評議員会( 富田副会長 )<br>九州地方社会保険医療協議会宮崎部会<br>( 河野副会長 )<br>南那珂医師会定時総会                    |
| 12 | 県医産業医部会総会・研修会( 会長他 )<br>県医在宅医療協議会設立総会( 会長他 )                                                   | 26 | 自民党総務会・県連大会( 会長 )<br>県整形外科医会評議員会<br>県外科医会理事・評議員会<br>県整形外科医会総会<br>県外科医会総会<br>労災部会総会<br>県外科医会・県整形外科医会・労災部会合同<br>学会 |
| 13 | 九州ブロック初期・後期臨床研修進路説明会<br>( 福岡 〳 古賀常任理事 )                                                        | 28 | 県健康づくり協会理事会( 会長他 )<br>県難病医療連絡協議会( 古賀常任理事 )<br>県内科医会理事会                                                           |
| 14 | 「宮崎を元気にする会」会員団体代表者会議( 会長 )<br>県内科医会学術委員会<br>広報委員会( 富田副会長他 )                                    | 29 | 県腎臓バンク理事会( 会長 )<br>県歯科保健推進協議会成人期部会( 荒木常任理事 )<br>医協理事会( 会長他 )<br>第 2 回理事会( 会長他 )                                  |
| 15 | 日医理事会( 日医 〳 会長 )<br>日医連執行委員会( 日医 〳 会長他 )<br>日医役員就任披露パーティ( 東京 〳 会長他 )<br>第 6 回常任理事協議会( 富田副会長他 ) | 30 | 県アイバンク協会理事会( 会長他 )                                                                                               |
| 16 | 全体課長会( 事務局 )                                                                                   | 31 | 有床診療所についての報道機関各社との懇談会<br>( 会長他 )                                                                                 |
| 17 | 県医・医協合同会計監査( 会長他 )                                                                             |    |                                                                                                                  |
| 19 | 九医連常任委員会( 会長 )<br>九医連定例委員総会( 会長他 )<br>九州医連連絡会執行委員会( 会長他 )                                      |    |                                                                                                                  |
| 20 | 九医連親善ゴルフ大会                                                                                     |    |                                                                                                                  |
| 21 | 県立看護大学参与会( 立元常任理事 )                                                                            |    |                                                                                                                  |

## 「はまゆう随筆」原稿募集

7・8月号に夏の恒例となりました「はまゆう随筆」欄を企画致しますので奮ってご投稿をお願い致します。毎年皆様に大変ご好評のようです。

題 材：診療閑話，私の趣味，旅行記，スポーツ談義，詩，短歌，俳句など何でも結構です。なお，本文に関連した写真・イラスト等も掲載できます。

字 数：800字以内

締 切：6月30日(土)

投稿項目，タイトル，ご氏名を先頭に付記して下さい。

ご投稿の原稿が他誌に掲載，または投稿中の場合はその旨お知らせ下さい。

掲載については，広報委員会にご一任下さいますようお願い致します。

原則として原稿はお返し致しません。返送を希望される方はその旨ご指示下さい。

原稿の内容については，人権・プライバシーに十分な配慮をお願いします。

原稿は主にメールにて受け付けております。ワードまたはテキスト形式で作成・保存し，日州医事原稿専用アドレス( genko@m iyazaki.m ed.or.jp )宛お送りください。もちろん，それ以外の方法( FAX ，郵便等 )でお送りいただいても構いません。

### 原稿送付・問合せ先

宮崎県医師会広報委員会 はまゆう随筆係

E m ail: genko@m iyazaki.m ed .or .jp

〒 880 - 0023 宮崎市和知川原 1 丁目 101

FAX 0985 - 27 - 6550 TEL 0985 - 22 - 5118

原稿送付の際は，他の原稿との混同を防ぐため「はまゆう随筆」である旨とタイトル，ご氏名を明記の上お送りください。

## ドクターバンク情報

( 無料職業紹介所 )

平成 24年 5 月 15日現在

本会では、会員の相互情報サービスとしてドクターバンク( 求人・求職等の情報提供 )を設置しております。登録された情報は、当紹介所で管理し秘密は厳守いたします。

現在、下記のとおり情報が寄せられております。お気軽にご利用ください。

お申込み、お問い合わせは当紹介所へ直接お願いいたします。

また、宮崎県医師会ホームページでも手続きと情報のあらましを紹介しておりますのでご覧ください。

1 . 求職者登録数 2 人

1 ) 男性医師求職登録数 2 人 ( 人 )

| 希 望 診 療 科 目 | 求 職 数 | 常 勤 | 非 常 勤 |
|-------------|-------|-----|-------|
| 内 科         | 2     | 1   | 1     |

2 ) 女性医師求職登録数 0 人

2 . 斡旋成立件数 40人

1 ) 男性医師 29人 2 ) 女性医師 11人

3 . 求人登録 90件 319人 ( 人 )

| 募 集 診 療 科 目 | 求 人 数 | 常 勤 | 非 常 勤 |
|-------------|-------|-----|-------|
| 内 科         | 97    | 70  | 27    |
| 外 科         | 31    | 25  | 6     |
| 整 形 外 科     | 21    | 17  | 4     |
| 精 神 科       | 21    | 16  | 5     |
| 循 環 器 科     | 16    | 16  | —     |
| 脳 神 経 外 科   | 12    | 9   | 3     |
| 消 化 器 内 科   | 12    | 12  | —     |
| 麻 酔 科       | 10    | 7   | 3     |
| 眼 科         | 10    | 8   | 2     |
| 放 射 線 科     | 10    | 9   | 1     |
| 小 児 科       | 6     | 5   | 1     |
| 呼 吸 器 内 科   | 5     | 5   | —     |
| リハビリテーション科  | 4     | 2   | 2     |
| 血 液 内 科     | 3     | 3   | —     |
| 神 経 内 科     | 6     | 6   | —     |
| 救 命 救 急 科   | 3     | 3   | —     |
| 健 診         | 4     | 2   | 2     |
| 産 婦 人 科     | 2     | 2   | —     |
| 泌 尿 器 科     | 1     | 1   | —     |
| 検 診         | 2     | —   | 2     |
| 皮 膚 科       | 2     | 2   | —     |
| 人 工 透 析     | 2     | 2   | —     |
| 耳 鼻 咽 喉 科   | 2     | 2   | —     |
| そ の 他       | 37    | 34  | 3     |
| 合 計         | 319   | 258 | 61    |

## 求 人 登 録 者 ( 公 開 )

求人情報は、申し込みが必要です。宮崎県医師協同組合、  
無料職業紹介所(ドクターバンク)へお申し込み下さい。

下記の医療機関は、公開について同意をいただいております。

| 登録番号   | 施 設 名                   | 所 在 地 | 募 集 診 療 科                | 求人数 | 勤 務 形 態 |
|--------|-------------------------|-------|--------------------------|-----|---------|
| 150005 | 医 )わか会ピア・メンタル ささき病院     | 宮 崎 市 | 精                        | 2   | 常勤・非常勤  |
| 160011 | 赤十字血液センター               | 宮 崎 市 | 検診                       | 2   | 非常勤     |
| 160013 | 医 )三晴会 金丸脳神経外科病院        | 宮 崎 市 | 脳 整 放 麻 内                | 8   | 常勤・非常勤  |
| 160017 | 医 )プレストピア プレストピアなんば病院   | 宮 崎 市 | 乳腺 内                     | 3   | 常勤      |
| 160020 | 財 )弘潤会 野崎病院             | 宮 崎 市 | 精 内                      | 2   | 常勤      |
| 160031 | 医 )同心会 古賀総合病院           | 宮 崎 市 | 呼,神内,眼,耳,総診 呼外 ,<br>循 臨病 | 9   | 常勤      |
| 160033 | 医 )如月会 若草病院             | 宮 崎 市 | 内 精                      | 3   | 非常勤     |
| 170040 | 医 )いなほ会 日高医院            | 宮 崎 市 | 内                        | 1   | 非常勤     |
| 170046 | 医 )社団善仁会 市民の森病院         | 宮 崎 市 | 内 消内 内泌糖内 呼 放 ,<br>リウマチ  | 10  | 常勤・非常勤  |
| 170048 | 医 )慶明会 けいめい記念病院         | 国 富 町 | 内 眼                      | 2   | 常勤      |
| 170052 | 医 )春光会                  | 宮 崎 市 | 外 内                      | 3   | 常勤      |
| 180061 | 医 )あいクリニック              | 宮 崎 市 | 精                        | 1   | 非常勤     |
| 180082 | 国立病院機構宮崎東病院             | 宮 崎 市 | 内 神内 整                   | 5   | 常勤      |
| 190087 | 宮崎市医師会病院                | 宮 崎 市 | 消内                       | 3   | 常勤      |
| 190094 | 医 )耕和会 迫田病院             | 宮 崎 市 | 整 内 外                    | 7   | 常勤・非常勤  |
| 190095 | 医 )慶明会 宮崎中央眼科病院         | 宮 崎 市 | 眼                        | 2   | 常勤・非常勤  |
| 190096 | 医 )晴緑会 宮崎医療センター病院       | 宮 崎 市 | 消化 外 総内 麻 放 精 整 ,<br>循   | 13  | 常勤・非常勤  |
| 200104 | 医 )社団善仁会 宮崎善仁会病院        | 宮 崎 市 | 内 外 救急 化療 リハ             | 6   | 常勤      |
| 200105 | 医 )誠友会 南部病院             | 宮 崎 市 | 内 外 放                    | 3   | 常勤      |
| 210110 | 医 )幸秀会 大江整形外科病院         | 宮 崎 市 | 整                        | 1   | 常勤      |
| 210118 | 慈英病院                    | 宮 崎 市 | 内 リハ                     | 5   | 常勤・非常勤  |
| 220121 | 医 )社団 星井眼科医院            | 宮 崎 市 | 眼                        | 1   | 常勤      |
| 220126 | 八代医院                    | 宮 崎 市 | 内                        | 1   | 非常勤     |
| 230128 | 医 )真愛会 高宮病院             | 宮 崎 市 | 内                        | 1   | 常勤      |
| 230132 | 医 )康友会 青島クリニック          | 宮 崎 市 | 内                        | 1   | 常勤      |
| 230134 | 医 )慈光会 宮崎若久病院           | 宮 崎 市 | 精                        | 2   | 常勤      |
| 230136 | 社会保険 宮崎江南病院             | 宮 崎 市 | 健診                       | 1   | 非常勤     |
| 230139 | 介護老人保健施設サンフローラみやざき      | 国 富 町 | 内 外                      | 2   | 常勤      |
| 230140 | 医 )将優会 クリニックうしたに        | 宮 崎 市 | 外 内 整 家庭医 総合臨床           | 1   | 常勤      |
| 240141 | 医 )博愛社 佐土原病院            | 宮 崎 市 | 内                        | 1   | 非常勤     |
| 160008 | 医 )正立会 黒松病院             | 都 城 市 | 内 泌                      | 2   | 常勤      |
| 160010 | 特医 )敬和会 戸嶋病院            | 都 城 市 | 内 老内                     | 2   | 常勤      |
| 160018 | 医 )宏仁会 メディカルシティ東部病院     | 都 城 市 | 内 救急 放射 脳外 外 ,<br>総合     | 8   | 常勤      |
| 170042 | 医 )豊栄会 豊栄クリニック          | 都 城 市 | 内 老内 精                   | 3   | 常勤      |
| 170056 | 医 )社団アブラハムクラブ ベテスタクリニック | 都 城 市 | 循内 脳外 呼 神内               | 5   | 常勤      |
| 170057 | 医 )清陵会 隅病院              | 都 城 市 | 内 外 整                    | 3   | 常勤      |
| 180064 | 国立病院機構都城病院              | 都 城 市 | 消内 血内 循 内 脳 産婦 ,<br>耳鼻   | 9   | 常勤      |
| 180069 | 社 )八日会 大悟病院             | 三 股 町 | 精 内                      | 2   | 常勤      |

| 登録番号   | 施 設 名               | 所 在 地 | 募 集 診 療 科              | 求人数 | 勤 務 形 態 |
|--------|---------------------|-------|------------------------|-----|---------|
| 180081 | 医 )恵心会 永田病院         | 都 城 市 | 精                      | 1   | 常勤      |
| 190092 | 都城市郡医師会病院           | 都 城 市 | 内 呼                    | 4   | 常勤      |
| 190093 | 社 )八日会 藤元早鈴病院検診センター | 都 城 市 | 内                      | 2   | 常勤・非常勤  |
| 210108 | 特医 )敏和会 みまた病院       | 三 股 町 | 内 消内 循皮整婦小 ,<br>呼 放    | 10  | 常勤      |
| 210113 | 医 )邦楽会 河村医院         | 都 城 市 | 内                      | 1   | 常勤      |
| 210114 | 社 )八日会 藤元病院         | 都 城 市 | 精                      | 2   | 常勤      |
| 230127 | 医 )倫生会 三州病院         | 都 城 市 | 外 内 麻                  | 9   | 常勤・非常勤  |
| 230133 | 介護老人保健施設すこやか苑       | 都 城 市 | 不問                     | 1   | 常勤      |
| 230135 | 医 )廣師会 信愛医院         | 都 城 市 | 内                      | 1   | 常勤      |
| 230137 | 医 )宏仁会 海老原内科        | 都 城 市 | 内                      | 1   | 常勤      |
| 160012 | 医 )伸和会 共立病院         | 延 岡 市 | 外 整外 皮 放 内 肝外          | 6   | 常勤      |
| 160021 | 医 )建悠会 吉田病院         | 延 岡 市 | 精                      | 2   | 常勤      |
| 160034 | 特医 )健寿会 黒木病院        | 延 岡 市 | 外 消内 緩ケア               | 4   | 常勤      |
| 160036 | 医 )久康会 平田東九州病院      | 延 岡 市 | 内 外麻 精 神内 脳神経<br>老施 心内 | 5   | 常勤・非常勤  |
| 190086 | 早田病院                | 延 岡 市 | 内                      | 1   | 常勤      |
| 200100 | 医 )育生会 井上病院         | 延 岡 市 | 産婦 内                   | 2   | 常勤      |
| 200102 | 延岡市医師会病院            | 延 岡 市 | 消内                     | 3   | 常勤      |
| 210109 | 延岡市夜間急病センター         | 延 岡 市 | 内 小 外 整                | 8   | 常勤・非常勤  |
| 210112 | 医 )嘉祥会 岡村病院         | 延 岡 市 | 内                      | 3   | 常勤・非常勤  |
| 160039 | 医 )誠和会 和田病院         | 日 向 市 | 外 内 整 透                | 7   | 常勤      |
| 210111 | 宮崎県済生会 日向病院         | 門 川 町 | 内 麻                    | 4   | 常勤      |
| 230130 | 医 )ラポール向洋           | 日 向 市 | 内                      | 1   | 常勤      |
| 230131 | 医 )向洋会 協和病院         | 日 向 市 | 内                      | 1   | 常勤      |
| 160006 | 都農町国保病院             | 都 農 町 | 内 放 外 小                | 4   | 常勤      |
| 160023 | 医 )宏仁会 海老原総合病院      | 高 鍋 町 | 整 内 心内 眼 健診 循 脳        | 16  | 常勤・非常勤  |
| 170058 | 国立病院機構宮崎病院          | 川 南 町 | 呼 循 消内 外               | 8   | 常勤      |
| 180077 | 医 )聖山会 川南病院         | 川 南 町 | 眼 麻 脳                  | 10  | 常勤・非常勤  |
| 160024 | 医 )隆徳会 鶴田病院         | 西 都 市 | 内 外 整                  | 6   | 常勤・非常勤  |
| 150002 | 医 )慶明会 おび中央病院       | 日 南 市 | 内                      | 1   | 常勤      |
| 150003 | 医 )同仁会 谷口病院         | 日 南 市 | 精                      | 1   | 常勤      |
| 160022 | 医 )愛鍼会 山元病院         | 日 南 市 | 内 消内 神内                | 3   | 常勤      |
| 160037 | 医 )十善会 県南病院         | 串 間 市 | 精 内                    | 2   | 常勤・非常勤  |
| 170047 | 日南市立中部病院            | 日 南 市 | 内 神内 整 外               | 4   | 常勤      |
| 180071 | 串間市民病院              | 串 間 市 | 腎内                     | 1   | 常勤      |
| 220124 | 医 )月陽会 きよひで内科クリニック  | 日 南 市 | 内                      | 4   | 常勤・非常勤  |
| 230129 | 医 )秀英会 英医院          | 串 間 市 | 内                      | 1   | 常勤      |
| 230138 | 小玉共立外科              | 日 南 市 | 不問                     | 2   | 常勤・非常勤  |
| 160019 | 医 )相愛会 桑原記念病院       | 小 林 市 | 内                      | 2   | 常勤・非常勤  |
| 170043 | 医 )和芳会 小林中央眼科       | 小 林 市 | 眼                      | 1   | 常勤      |
| 180067 | 小林市立病院              | 小 林 市 | 内 循 呼 血内 健診 放 小        | 11  | 常勤      |
| 180076 | 医 )友愛会 園田病院         | 小 林 市 | 外 内 整                  | 4   | 常勤      |
| 190090 | 特医 )浩然会 内村病院        | 小 林 市 | 精                      | 2   | 常勤      |
| 190091 | 医 )友愛会 野尻中央病院       | 小 林 市 | 整 内                    | 4   | 常勤・非常勤  |
| 170049 | 五ヶ瀬町国保病院            | 五ヶ瀬町  | 整                      | 1   | 常勤      |
| 180070 | 高千穂町国保病院            | 高千穂町  | 内 神内 循内                | 3   | 常勤・非常勤  |
| 190088 | 日之影町国保病院            | 日之影町  | 内 整                    | 2   | 非常勤     |

## 病医院施設の譲渡・賃貸

譲渡，賃貸希望の物件を紹介いたします。

平成 24 年 5 月 15 日現在

|         |                                                                                                                           |
|---------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 譲渡物件 | <u>宮崎市阿波ヶ原町前田 2633 番, 2634 番</u><br>土地のみ：593.57 坪( 2022.17m <sup>2</sup> )                                                |
| 2. 賃貸物件 | <u>宮崎市曾師町 209-3 (旧 田川内科医院跡地)</u><br>建物：鉄筋コンクリート造 2 階建<br>1 階 183.35m <sup>2</sup> , 2 階 166.69m <sup>2</sup><br>駐車場：10 台分 |
|         | <u>延岡市大門町 188-1 (旧 白坂内科医院跡地)</u><br>建物：鉄筋造平屋建 205m <sup>2</sup><br>駐車場：10 台分                                              |

## ドクターバンク無料職業紹介所利用のご案内

1. 取扱範囲は宮崎県内全域です。但し，求職者は県外でも結構です。
2. 紹介受付は，月～金の午前 9 時から 12 時及び 13 時から 17 時です。
3. 申込み方法は，所定の用紙「求職票」「求人票」にご記入後登録させていただきます。
4. ご希望に沿った先を斡旋させていただきます。
5. 斡旋成立時の紹介料は，「求人」「求職」いずれも無料です。

お問合せ先

ドクターバンク無料職業紹介所

〒 880-0023 宮崎市和知川原 1 丁目 10 番地( 宮崎県医師協同組合 )

0985-23-9100( 代 )・FAX 0985-23-9179

E-mail: isikyou@m iyazakim ed.or.jp

## 宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

平成 24 年 5 月 31 日現在

| 6  |   |                                                                                                                          | 月  |   |                                                                                               |                       |
|----|---|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|---|-----------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------|
| 1  | 金 | 16 00 九医連常任委員会<br>17 00 九州各県医療保健福祉主管部長・九州各県医師会長合同会議                                                                      | 16 | 土 | 16 00 北九州医師事業協同組合創立 50 周年祝賀会                                                                  | ↑<br>国<br>保<br>審<br>査 |
| 2  | 土 | 14 30 全国医師協同組合連合会購買担当職員研修会                                                                                               | 17 | 日 |                                                                                               |                       |
| 3  | 日 | 8 30 全国医師協同組合連合会購買担当職員研修会                                                                                                | 18 | 月 | 19 00 勤務医部会理事会                                                                                |                       |
| 4  | 月 | 19 30 県産婦人科医会と児童相談所との打合せ会議                                                                                               | 19 | 火 | 14 00 (日医)日医理事会<br>19 00 第 9 回常任理事協議会                                                         | ↓                     |
| 5  | 火 | 18 00 治験審査委員会<br>19 00 第 7 回常任理事協議会                                                                                      | 20 | 水 | 9 10 全体課長会(事務局)<br>19 00 医家芸術展世話人会                                                            |                       |
| 6  | 水 | 19 00 県内科医会評議員会                                                                                                          | 21 | 木 | 19 00 県内科医会誌編集委員会                                                                             |                       |
| 7  | 木 | 13 00 社会保険医療担当者(医科)の新規個別指導<br>19 00 県警察医会協議会<br>19 00 学校医部会理事・評議員会                                                       | 22 | 金 | 13 30 宮大経営協議会<br>18 30 医師国保定例事務監査                                                             | ↑<br>社<br>保<br>審<br>査 |
| 8  | 金 | 18 30 病院部会・医療法人部会合同総会<br>19 30 県産婦人科医会がん検診対策委員会                                                                          | 23 | 土 | 14 30 医師協同組合通常総代会<br>15 10 県医連執行委員会<br>15 30 県医定例代議員会<br>17 00 県医定例総会<br>18 30 県内医師会合同協議会・懇談会 |                       |
| 9  | 土 | 16 00 県内科医会総会並びに学術講演会                                                                                                    | 24 | 日 | 15 00 全国有床診療所連絡協議会役員会                                                                         |                       |
| 10 | 日 |                                                                                                                          | 25 | 月 | 19 00 広報委員会<br>19 00 西都市・西児湯医師会定時総会                                                           | ↓                     |
| 11 | 月 | 13 30 宮日母子福祉事業団評議員会<br>19 00 産業医研修会<br>19 30 県産科婦人科学会専門医審査委員会                                                            | 26 | 火 | 18 00 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会<br>19 00 第 2 回全理事協議会                                                  |                       |
| 12 | 火 | 19 00 第 8 回常任理事協議会                                                                                                       | 27 | 水 | 15 00 労災診療指導委員会                                                                               |                       |
| 13 | 水 | 12 00 宮崎政経懇話会<br>16 00 支払基金幹事会                                                                                           | 28 | 木 |                                                                                               | ↑                     |
| 14 | 木 | 15 00 全国国保組合協会通常総会<br>19 30 広報委員会<br>19 30 県産婦人科医会常任理事会                                                                  | 29 | 金 | 19 00 医師国保理事会                                                                                 |                       |
| 15 | 金 | 14 30 (日医)都道府県医師会電力確保担当理事連絡協議会<br>15 30 (日医)日医医療秘書認定試験委員会<br>17 30 西諸医師会定時総会<br>17 30 宮大医学部附属病院マッチング説明会 & 県内基幹型臨床研修病院説明会 | 30 | 土 | 県医健康スポーツ医学セミナー<br>14 30 勤務医部会理事会<br>15 00 宮崎市郡医師会定時総会<br>15 30 勤務医部会総会・前期講演会                  |                       |

都合により、変更になることがあります。

## 宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

平成 24 年 5 月 31 日現在

| 7 月  |                |                                       |                                                                   |
|------|----------------|---------------------------------------|-------------------------------------------------------------------|
| 1 日  | 10 00          | レジナビフェア                               | 16 月                                                              |
| 2 月  |                |                                       | 13 30 (日医) 日医理事会<br>15 00 (日医) 都道府県医師会長協議会<br>19 00 第 11 回常任理事協議会 |
| 3 火  | 18 00<br>19 00 | 治験審査委員会<br>第 10 回常任理事協議会              | 17 火                                                              |
| 4 水  |                |                                       | 18 水 9 10 全体課長会 (事務局)                                             |
| 5 木  | 19 00          | 県内科医会医療保険委員会                          | 19 木                                                              |
| 6 金  |                |                                       | 20 金                                                              |
| 7 土  | 14 30<br>18 30 | 産業医研修会 (実地)<br>九州地区医師会立共同利用施設連絡協議会懇親会 | 21 土                                                              |
| 8 日  |                |                                       | 22 日                                                              |
| 9 月  | 19 00          | 県内科医会理事会                              | 23 月                                                              |
| 10 火 | 18 30<br>19 00 | 第 3 回全理事協議会<br>県福祉保健部・病院局と県医師会との懇談会   | 24 火                                                              |
| 11 水 | 16 00          | 支払基金幹事会                               | 25 水                                                              |
| 12 木 | 19 00<br>19 30 | 園医部会理事会<br>県産婦人科医会常任理事会               | 26 木                                                              |
| 13 金 | 19 00<br>19 30 | 医師国保通常組合会<br>広報委員会                    | 27 金                                                              |
| 14 土 |                | 県認知症高齢者グループホーム連絡協議会理事会・総会・研修会         | 28 土                                                              |
| 15 日 | 10 00          | 日本警察医会総会・学術講演会<br>レジナビフェア             | 29 日                                                              |
|      |                |                                       | 30 月                                                              |
|      |                |                                       | 31 火                                                              |

都合により、変更になることがあります。

## 医 学 会 ・ 講 演 会

### 日本医師会生涯教育講座認定学会

注：数字は日本医師会生涯教育制度認定単位・カリキュラムコード（CC）。当日，参加証を交付。  
 がん検診；各種がん検診登録・指定・更新による研修会。波線；専門研修会以外の産業医研修会。  
アンダーラインの部分は，変更になったところです。

| 名 称                                                                     | 日時・場所・会費                                                                                               | 演 題                                                                                                        | そ の 他<br>= 連絡先                                              |
|-------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------|
| 南那珂医師会生涯<br>教育医学会<br>( 1 単位 )<br>( CC 24,74 )                           | 6 月 1 日(金)<br>18 50~ 20 15<br>南那珂医師会館                                                                  | Tolvaptan( サムスカ )の使用経験<br>藤元中央病院循環器科 長友 美達<br>循環体液調節ペプチドの最近の話題<br>宮崎大学医学部内科学講座<br>循環体液制御学教授 北村 和雄          | 共催<br>南那珂医師会<br>☎ 0987-23-3411<br>大塚製薬㈱                     |
| 第 14 回宮崎県眼科<br>医会講習会及び保<br>険研究会<br>( 3 単位 )<br>( CC 36 )                | 6 月 2 日(土)<br>16 00~ 19 00<br>シーガイアコンベン<br>ションセンター<br>3,000円<br>( 開業医・勤務医 )<br>2,000円<br>( 公的医療機関勤務医 ) | 角膜疾患の外科的治療 最近の進歩<br>東京歯科大学市川総合病院眼科<br>教授 島崎 潤<br>非動脈炎性虚血性視神経症 動物モデル<br>作成と治療への応用<br>宮崎大学医学部眼科学准教授<br>中馬 秀樹 | 主催<br>宮崎県眼科医会<br>☎ 0985-28-1015<br>共催<br>参天製薬㈱              |
| 第 6 回宮崎県精神<br>科医会懇話会<br>( 1.5 単位 )<br>( CC 69,70 )                      | 6 月 2 日(土)<br>17 30~ 19 00<br>宮崎観光ホテル                                                                  | B ipolar D isorderをめぐる変化<br>長崎大学精神障害<br>リハビリテーション学教授<br>中根 秀之                                              | 共催<br>宮崎県精神科医会<br>☎ 0982-37-0126<br>大塚製薬㈱                   |
| 第 29 回国立病院機<br>構宮崎病院医療セ<br>ミナー<br>がん検診( 胃 )<br>( 1 単位 )<br>( CC 10,22 ) | 6 月 6 日(水)<br>19 00~ 20 00<br>ブライダルホール<br>竹乃屋                                                          | ここまで進んだ胃・食道がん治療<br>宮崎大学医学部内科学講座<br>消化器血液学助教 三池 忠                                                           | 主催<br>国立病院機構宮崎病院<br>後援<br>児湯医師会<br>☎ 0983-22-1641<br>児湯内科医会 |

| 名 称                                                | 日時・場所・会費                                                | 演 題                                                   | そ の 他<br>= 連絡先                                                              |
|----------------------------------------------------|---------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------|
| 宮崎市郡産婦人科<br>医会例会(6月例会)<br>(1単位)<br>(CC 11,84)      | 6月7日(木)<br>19 15~<br>宮崎観光ホテル                            | 産科における静脈血栓塞栓症予防対策<br>自治医科大学産科婦人科学<br>准教授 渡辺 尚         | 共催<br>宮崎市郡産婦人科医会<br>☎ 0985-53-3434<br>科研製薬(株)                               |
| 日向市東臼杵郡医<br>師会学術講演会<br>(1単位)<br>(CC 74,82)         | 6月7日(木)<br>19 45~ 21 00<br>ホテルベルフォート<br>日向              | 高血圧治療の最初の一步 mega-trialを<br>読む<br>岡山大学循環器内科学教授<br>伊藤 浩 | 共催<br>日向市東臼杵郡医師会<br>☎ 0982-52-0222<br>日向市東臼杵郡薬剤師会<br>日本ベーリンガーイ<br>ンゲルハイム(株) |
| 第8回宮崎G Iフ<br>ォーラム<br>(2単位)<br>(CC 50,51,52,53)     | 6月8日(金)<br>18 30~ 20 30<br>シーガイアコンベン<br>ションセンター<br>500円 | 内視鏡外科手術の現況<br>昭和大学横浜市北部病院<br>消化器センター 井上 晴洋            | 共催<br>宮崎G Iフォーラム<br>ゼリア新薬工業(株)<br>☎ 092-411-1241<br>後援<br>宮崎県内科医会           |
| 第11回M C D Joint<br>M eeting<br>(1単位)<br>(CC 76,82) | 6月8日(金)<br>19 00~ 20 30<br>宮崎観光ホテル<br>500円              | 生活習慣病の治療から血管再生療法ま<br>で(仮)<br>名古屋大学循環器内科学教授<br>室原 豊明   | 共催<br>M C D Joint M eeting<br>武田薬品工業(株)<br>☎ 0985-24-6763                   |
| 第2回宮崎アテロ<br>ーム血栓症フォー<br>ラム<br>(1.5単位)<br>(CC 73)   | 6月8日(金)<br>19 00~ 21 00<br>ホテルJALシティ<br>宮崎              | 臨床に役立つ虚血性脳血管障害の画像<br>診断<br>川崎医科大学脳卒中医学教授<br>木村 和美     | 共催<br>宮崎県内科医会<br>大塚製薬(株)<br>☎ 0985-29-2287                                  |

| 名 称                                                      | 日時・場所・会費                                                                        | 演 題                                                                                                                                           | そ の 他<br>= 連絡先                                              |
|----------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------|
| Asthma control<br>seminar 2012<br>( 1 単位 )<br>(CC 45,46) | 6 月 8 日(金)<br>19 30~ 21 00<br>MRT-micc                                          | 成人喘息の診療の実際 - 咳喘息を含めて -<br>名古屋市立大学腫瘍・免疫内科学<br>教授 新実 彰男                                                                                         | 共催<br>宮崎県内科医会<br>アステラス製薬(株)<br>☎ 0985-61-1537<br>アストラゼネカ(株) |
| 宮崎県内科医会総<br>会並びに学術講演<br>会<br>( 2 単位 )<br>(CC 2,9,15,73)  | 6 月 9 日(土)<br>16 00~ 19 00<br>宮崎観光ホテル                                           | 新しいCKD 分類<br>- 何が、何故、如何に変わったのか? -<br>宮崎大学医学部血液・血管<br>先端医療学教授 藤元 昭一<br>動脈硬化性疾患予防ガイドライン( 2012)<br>- 改訂のポイントとCKD -<br>大阪市立大学老年血管病態学<br>准教授 庄司 哲雄 | 共催<br>宮崎県内科医会<br>☎ 0985-22-5118<br>宮崎県医師会<br>アステラス製薬(株)     |
| 循環器疾患検討会<br>特別講演会<br>( 1 単位 )<br>(CC 7,74)               | 6 月 11日(月)<br>19 00~ 20 00<br>ホテルJALシティ<br>宮崎                                   | 循環器疾患にまつわる日米の医療事情<br>- その違いを現場で活かすために -<br>慶應義塾大学医学部循環器内科<br>香坂 俊                                                                             | 主催<br>循環器疾患検討会<br>共催<br>エーザイ(株)<br>☎ 0985-26-2676           |
| 宮崎県医師会産業<br>医研修会<br>( 2 単位 )<br>(CC 3,4,7,9)             | 6 月 11日(月)<br>19 00~ 21 00<br>県医師会館 TV 会議<br>都城 延岡 日向 児<br>湯 西都 南那珂 西諸,<br>西臼杵) | 過重労働と関係法令・労災認定基準<br>宮崎労働局労働基準部監督課<br>専門監督官 岡本 秀樹<br>同局同部労災補償課労災監察官<br>久保 秀行                                                                   | 共催<br>宮崎産業保健推進センター<br>宮崎県医師会<br>0985-22-5118                |
| 宮崎県痛みを考え<br>る会<br>( 1 単位 )<br>(CC 61,63)                 | 6 月 13日(水)<br>19 00~ 20 20<br>ホテルJALシティ<br>宮崎                                   | 関節の痛みとそのコントロール<br>産業医科大学病院整形外科<br>准教授 酒井 昭典                                                                                                   | 共催<br>宮崎市郡医師会<br>アステラス製薬(株)<br>ファイザー(株)<br>☎ 0985-23-9103   |

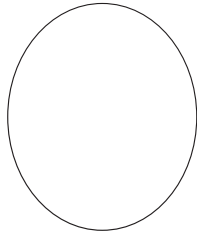
| 名 称                                                       | 日時・場所・会費                                   | 演 題                                                                                                                                                      | そ の 他<br>= 連絡先                                          |
|-----------------------------------------------------------|--------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------|
| 第68回江南医療連携の会・症例検討会<br>(1.5単位)<br>(CC 53,57)               | 6月14日(木)<br>19 00~ 20 30<br>社会保険宮崎江南病院     | 2011年前期大腸手術症例について<br>宮崎江南病院外科部長 立野 太郎<br>脛骨高原骨折に対し、小皮切での骨接合、人工骨移植術を行った2例<br>同病院整形外科部長 益山 松三<br>Hemipulp flap transferにて再建を行った手指外傷の2症例<br>同病院形成外科医長 津田 雅由 | 主催<br>江南医療連携の会<br>(連絡先)<br>社会保険宮崎江南病院<br>☎ 0985-51-7575 |
| 都城市北諸県郡医師会東洋医学会学術講演会 シリーズ第2回)<br>(1.5単位)<br>(CC 46,79,83) | 6月14日(木)<br>19 00~ 20 30<br>ホテル中山荘         | 呼吸器疾患と漢方<br>松田医院・和漢堂院長 松田 史彦                                                                                                                             | 主催<br>都城市北諸県郡医師会東洋医学会<br>☎ 0986-22-0711<br>共催<br>㈱ツムラ   |
| 第43回宮崎木曜会創立記念学術講演会<br>がん検診(胃)<br>(1単位)<br>(CC 50,52)      | 6月14日(木)<br>19 15~ 20 30<br>宮崎観光ホテル        | 早期胃癌の内視鏡診断<br>- 通常光観察からNBt拡大観察まで -<br>佐久総合病院胃腸科部長<br>小山 恒男                                                                                               | 共催<br>宮崎木曜会<br>武田薬品工業㈱<br>☎ 0985-24-6763                |
| 延岡医学会学術講演会<br>(1単位)<br>(CC 9,75)                          | 6月15日(金)<br>19 00~ 20 15<br>ホテルメリージュ<br>延岡 | 動脈硬化性疾患予防ガイドライン 2012年版<br>Tsukasa Health Care Hospital<br>内科部長 枇榔 貞利                                                                                     | 共催<br>延岡医学会<br>興和創薬㈱<br>☎ 0985-24-8175<br>後援<br>延岡内科医会  |
| 宮崎県医師会産業医研修会(実地研修)<br>(2単位)<br>(CC 2,8,9,11)              | 6月15日(金)<br>19 00~ 21 00<br>県医師会館          | 労働衛生保護具の使用方法について<br>- 防じん、防毒マスクについて -<br>産業保健特別相談員 下津 義博                                                                                                 | 共催<br>宮崎産業保健推進センター<br>宮崎県医師会<br>☎ 0985-22-5118          |

| 名 称                                                            | 日時・場所・会費                                              | 演 題                                                          | そ の 他<br>= 連絡先                                                                                |
|----------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|
| 第 16 回宮崎 N S T 研究会<br>( 3 単位 )<br>( C C 10,80)                 | 6 月 16 日 ( 土 )<br>15 00 ~ 18 15<br>宮崎市民プラザ<br>1,000 円 | チームでする嚥下治療<br>福井県済生会病院耳鼻咽喉科・<br>頸部外科主任部長 津田 豪太               | 共催<br>宮崎 N S T 研究会<br>宮崎県プライマリケア研究会<br>宮崎県栄養士会<br>宮崎県薬剤師会<br>(株)大塚製薬工場<br>☎ 096-359-1808      |
| 日向市東臼杵郡医師会学術講演会<br>( 1 単位 )<br>( C C 1 ,84)                    | 6 月 16 日 ( 土 )<br>16 30 ~ 17 30<br>日向市東臼杵郡医師会館        | 日本医師連盟のあり方 ( 仮 )<br>宮崎県医師会長 稲倉 正孝                            | 主催<br>日向市東臼杵郡医師会<br>☎ 0982-52-0222                                                            |
| 第 64 回宮崎整形外科懇話会<br>( 1 単位 )<br>( C C 57,61)                    | 6 月 16 日 ( 土 )<br>17 00 ~ 18 00<br>県医師会館<br>1,000 円   | 人工骨の開発と臨床応用<br>国立病院機構京都医療センター<br>病院長 中村 孝志                   | 主催<br>宮崎整形外科懇話会<br>共催<br>宮崎県整形外科医会<br>大日本住友製薬(株)<br>( 連絡先 )<br>宮崎大学医学部整形外科学<br>☎ 0985-85-0986 |
| みやざきホスピス・緩和ケアネットワーク第 2 回学術集会<br>( 2 単位 )<br>( C C 1 ,2 ,10,81) | 6 月 16 日 ( 土 )<br>18 00 ~ 20 00<br>J A A Z M ホール      | がん医療における心の問題とその対応<br>埼玉医科大学国際医療センター<br>精神腫瘍科教授 大西 秀樹         | 共催<br>みやざきホスピス・緩和ケアネットワーク<br>大日本住友製薬(株)<br>☎ 0985-29-5855                                     |
| 第 4 回都城心臓血管懇話会<br>( 1 単位 )<br>( C C 24,45)                     | 6 月 19 日 ( 火 )<br>19 00 ~ 20 10<br>ホテル中山荘             | 実地医家におけるトルバプタンの役割と可能性<br>- 80 列の使用経験から -<br>木原循環器内科医院院長 木原 一 | 主催<br>都城心臓血管懇話会<br>☎ 0986-22-0711<br>共催<br>大塚製薬(株)                                            |

| 名 称                                              | 日時・場所・会費                                            | 演 題                                                                                                    | そ の 他<br>= 連絡先                                                                              |
|--------------------------------------------------|-----------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|
| 宮崎県医師会産業<br>医研修会<br>(2単位)<br>(CC 5,6,69,70)      | 6月20日(水)<br>14 00~ 16 00<br>県医師会館                   | 職場のメンタルヘルス<br>産業保健相談員・宮崎大学医学部<br>名誉教授 鶴 紀子                                                             | 共催<br>宮崎産業保健推進センター<br>宮崎県医師会<br>☎ 0985-22-5118                                              |
| 西臼杵地区学術講<br>演会<br>(1単位)<br>(CC 11,78)            | 6月21日(木)<br>19 00~ 20 30<br>ホテル高千穂                  | 変わりゆく心房細動管理<br>- 新規抗凝固薬の登場とアブレーション<br>の進歩 -<br>福岡山王病院ハートリズム<br>センター長・国際医療福祉大学教授<br>熊谷 浩一郎              | 主催<br>西臼杵郡医師会<br>共催<br>延岡市西臼杵郡薬剤<br>師会西臼杵支部<br>バイエル薬品(株)<br>(連絡先)<br>佐藤医院<br>☎ 0982-73-2010 |
| 第33回宮崎てんか<br>ん懇話会<br>(2単位)<br>(CC 13,32,35,73)   | 6月22日(金)<br>19 00~ 21 00<br>ホテルJALシティ<br>宮崎<br>500円 | てんかんの薬物療法のコツ<br>久留米大学医学部神経精神医学<br>准教授 石田 重信                                                            | 共催<br>宮崎てんかん懇話会<br>協和発酵キリン(株)<br>☎ 0985-22-8801                                             |
| 第11回宮崎緑内障<br>セミナー<br>(2単位)<br>(CC 37)            | 6月23日(土)<br>18 00~ 20 20<br>ホテルスカイタワー<br>2,000円     | OCTによる緑内障診断<br>京都大学眼科准教授 板谷 正紀<br>緑内障チューブシャント手術<br>サムスン医学センター眼科・<br>ソンギョングァン大学医学部眼科<br>教授 Changwon Kee | 主催<br>宮崎緑内障研究会<br>共催<br>ファイザー(株)<br>☎ 0985-23-9103                                          |
| 第72回宮崎市郡医<br>師会心臓病研究会<br>(2単位)<br>(CC 1,2,11,74) | 6月28日(木)<br>19 00~ 21 00<br>宮崎観光ホテル                 | 循環器疾患における血小板凝集制御の<br>意義<br>熊本済生会病院心臓血管センター<br>循環器内科副部長・血管造影室長<br>坂本 知浩                                 | 共催<br>宮崎市郡医師会病院<br>☎ 0985-24-9119<br>MSD (株)                                                |
| 宮崎市郡内科医会<br>総会・講演会<br>(1.5単位)<br>(CC 76)         | 6月30日(土)<br>18 00~ 21 00<br>MRT-micc                | 2型糖尿病の病態と長期予後を見据えた<br>治療戦略<br>洪内科クリニック院長 洪 尚樹                                                          | 共催<br>宮崎市郡内科医会<br>武田薬品工業(株)<br>☎ 0985-24-6763                                               |

| 名 称                                                                          | 日時・場所・会費                                                                          | 演 題                                                                                                                                                                                    | そ の 他<br>= 連絡先                                   |
|------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------|
| 南那珂医師会生涯<br>教育医学会<br>( 1 単位 )<br>( CC 73)                                    | 7 月 3 日(火)<br>18 45~ 20 00<br>南那珂医師会館                                             | CKD と貧血( 仮 )<br>昭和大学医学部腎臓内科学教授<br>秋澤 忠男                                                                                                                                                | 共催<br>南那珂医師会<br>☎ 0987-23-3411<br>協和発酵キリン(株)     |
| 第 29 回宮崎感染症<br>研究会<br>( 2 単位 )<br>( CC 11,46)                                | 7 月 3 日(火)<br>18 45~ 21 00<br>宮崎観光ホテル<br>1,000円                                   | 肺炎診療において重要な視点と論理<br>佐賀大学医学部感染制御部教授<br>青木 洋介<br><br>動物の肝臓を食べて感染する疾患につ<br>いて<br>東京都立墨東病院感染症科部長<br>大西 健児                                                                                  | 共催<br>宮崎感染症研究会<br>第一三共(株)<br>☎ 0985-23-5710      |
| 第 44 回九州地区医<br>師会立共同利用施<br>設連絡協議会( 2 日<br>間 )<br>( 2 単位 )<br>( CC 1,2,10,13) | 7 月 7 日(土)<br>15 30~ 17 30<br>宮崎観光ホテル<br><br>7 月 8 日(日)<br>9 30~ 11 30<br>宮崎観光ホテル | 第 1 分科会 医師会病院部門<br>第 2 分科会 検査・検診部門<br>第 3 分科会 高齢社会事業部門<br><br>今後の医師会共同利用施設のあり方<br>- 平成 22・23 年度医師会共同利用施設検<br>討委員会報告書より -<br>日本医師会常任理事 葉梨 之紀<br>あまり知られていない 九州の巨大火<br>山災害<br>勤務医・作家 石黒 耀 | 主催<br>宮崎市郡医師会<br>☎ 0985-53-3434                  |
| 第 24 回ひむか運動<br>器セミナー<br>( 2 単位 )<br>( CC 59,61,62,77)                        | 8 月 3 日(金)<br>18 50~ 21 00<br>宮崎観光ホテル                                             | 関節リウマチにおける骨脆弱性と骨破壊<br>東京大学整形外科学教授 田中 栄<br>関節リウマチ手術の up to date( 適応と<br>術後リハビリを含めて )<br>埼玉医科大学整形外科教授<br>織田 弘美                                                                           | 共催<br>ひむか運動器セミナー<br>アステラス製薬(株)<br>☎ 0985-61-1537 |

診療メモ



孤立死の現状 宮崎市から

宮崎市 大西医院 <sup>おおにし</sup>大西<sup>ゆうじ</sup>雄二

はじめに

平成 23 年度に行った検死 102 例のなかで「孤立死」と判断したものが 13 例あった。その例を紹介し、検討する。地域共同体の網の目からこぼれ、福祉サービスを受けず、孤立する高齢者・独居者は多い。増加傾向は止まらない。

定義

本稿で扱う「孤立死」を定義する。「孤立死」の本質は生前の繋がりのなさが問題である。また年齢で区切るべきではない。現在は若年の男性の方が深刻である。ここでは、一人暮らし、在宅で死亡、誰にも看取られなかった、内因死、生前に社会的な繋がりがなく、の 5 つの条件に当てはまるものとした。からの条件に当てはまっても、介護サービスを受けていたり医療施設に通院中の者は省いた。

自験例の紹介(表 1)

102 例の死因の区分では内因死 74 例、外因死 2 例、7 例は不詳であった(図 1)。内因死と不詳の計 81 例のうち「孤立死」は 13 例(表 2)。13 例を紹介する。

自験例の考察

「孤立死」の比率は 16% と高率であった(図 2)。性別では女性が多くなっているが通常は男性が多い。

平均年齢では男性が女性に比べ著しく若い。男性は孤立しやすい。

日数が経っている例が多く、死因が究明できない場合が多い。日数では死後 1 ~ 3 週間が多い。長期間発見されなかった例があった。

発見者が警察官が多いのがこの地域の特徴である。発見者が親族であっても 2 例の餓死例があるように繋がりは薄い。受診歴がないため病態が推定しにくい。周囲との繋がりが乏しいため生活情報が得にくい。

表 1 内訳の詳細

|        |                                                                |
|--------|----------------------------------------------------------------|
| 性 別    | 男性 6 例, 女性 7 例                                                 |
| 年 齢    | 平均 67.7 歳(男性 58.5 歳, 女性 75.6 歳)                                |
| 死因の種類  | 内因性急死: 6 例, 不詳: 3 例, 餓死: 2 例, 虚血性心臓病発作の疑い: 1 例, 脳出血の疑い: 1 例    |
| 死後経過時間 | 3 日: 2 例, 3 ~ 7 日: 3 例, 1 ~ 3 週間: 6 名, 1 か月以上: 1 名, 3 年以上: 1 名 |
| 発見者    | 警察官: 5 名, 身内: 4 名, 公務員: 1 名, 管理人: 1 名, 町内会: 1 名, ガス会社の集金員: 1 名 |

表 2 孤立死例一覧

| 性     | 年齢   | 死因       | 発見者   | 日数         |
|-------|------|----------|-------|------------|
| 女性    | 83 歳 | 内因性急死    | ガス会社員 | 13 日       |
| 女性    | 79 歳 | 脳出血の疑い   | 町内会   | 13 日       |
| 女性    | 79 歳 | 内因性急死    | 警察官   | 約 10 日     |
| 男性(兄) | 85 歳 | 不詳(司法解剖) | 警察官   | 約 2 ~ 3 か月 |
| 女性(妹) | 76 歳 | 不詳(司法解剖) | 警察官   | 約 2 ~ 3 週間 |
| 男性    | 55 歳 | 不詳       | 警察官   | 約 3 年      |
| 男性    | 60 歳 | 内因性急死    | 親族    | 3 日        |
| 男性    | 40 歳 | 内因性急死    | 管理人   | 11 日       |
| 女性    | 74 歳 | 内因性急死    | 親族    | 5 日        |
| 女性    | 74 歳 | 虚血性心臓病発作 | 警察官   | 約 14 日     |
| 男性    | 59 歳 | 内因性急死    | 市の職員  | 約 7 日      |
| 女性    | 64 歳 | 栄養障害の衰弱死 | 親族    | 3 日        |
| 男性    | 52 歳 | 栄養障害の衰弱死 | 元妻    | 6 日        |

### 特異な事例の紹介

極めて特異な形をとる例がある。3 例を紹介する。

近郊の住宅を、6 月下旬、要請を受けた警察官が室内を捜索した。80 歳代の兄が死亡していた。死後 2 ～ 3 か月経過。傍に 70 歳代の妹が死亡していた。死後 2 ～ 3 週間経過。妹は兄の死後遺体と 1 ～ 2 か月同居し、その後「孤立死」した。司法解剖が行われたが死因は不詳。発見に至るまで、2 人とも社会的繋がりは無かった。

市の中心市街地の家屋で死後 3 年経過して発見された 50 代の男性例。民生委員が警察に要請し、警察官が室内で白骨遺体を発見した。死因は不詳、身元特定に約 1 か月を要した。

長年の警察医の経験でも市内の住宅地で 2 年以上経過して発見されたのは次例と合わせ 2 例のみである。

平成 15 年に、死後 2 年以上経過した 40 代男性の遺体の検死をおこなった。家賃や光熱費などは口座引き落としで、滞っていなかったために死を察知することはできなかった。

### 対策

警察官や民生委員らによる独居者の安否確認には限界がある。防止には見守りネットワークなど地域の繋がりが欠かせない。「地域包括支援センター等との協力」、「近所の人気づいたことを関係者に連絡するシステム」が考慮されるべきである。住民自身で安心できる地域づくりをめざす取組みが求められる(表 3)。

表 3 平成 19～ 22 年までに起きた孤立死の数と年代  
(宮崎市社会福祉協議会)

| 性 別  |      |     | 総計    |
|------|------|-----|-------|
| 男性   | 女性   | 不明  |       |
| 60 名 | 52 名 | 7 名 | 119 名 |

| 年齢層   | 計     |
|-------|-------|
| 30 歳代 | 2 名   |
| 40 歳代 | 1 名   |
| 50 歳代 | 11 名  |
| 60 歳代 | 16 名  |
| 70 歳代 | 22 名  |
| 80 歳代 | 39 名  |
| 90 歳代 | 5 名   |
| 不明    | 23 名  |
| 総計    | 119 名 |

### 背景と要因

「孤立死」者は、多くは病苦・生活苦を伴っている。貧困のために生存そのものが脅かされている。

社会的弱者をいかに救うか制度の脆弱さのなかで関係者の努力が続けられている。早く急変を発見できれば救命できた例もある。

「孤立死」者は、家族からの排除、医療・福祉からの排除、世間からの排除、自らの排除、の 4 つの排除にさらされている。

### おわりに

国民の高齢化と社会的繋がりのない独居者の増加により「孤立死」を含む異状死が増えている。足元に予備軍が堆積している。年代、地域を問わず社会共通の問題である。

死というのは、それが正しい秩序の中にある場合、きわめてやさしいものだ。たとえば、プロヴァンスの老いたる農夫が、自分の世代の終りに際して、自分の持ち分の山羊とオリーブの木を、息子たちに与えて、彼らもまた順番に、彼らの息子の息子たちに分ち与えさせようとする、あのときのようなものだ。

『人間の土地』サン・テグジュペリ 堀口大学訳

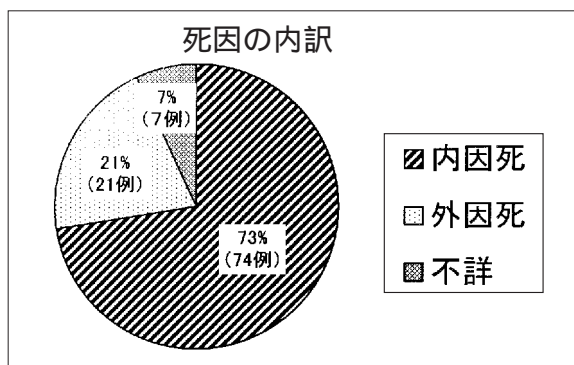


図 1

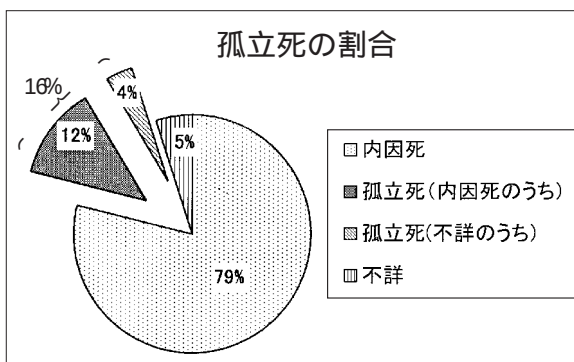


図 2

## お知らせ

県医師会から各都市医師会へ送付しました文書についてご案内いたします。詳細につきましては、会員専用ホームページをご覧ください。所属都市医師会へお問い合わせください。

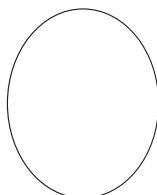
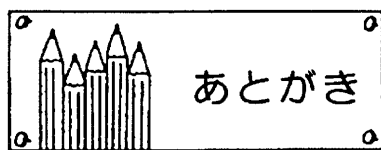
| 送付日      | 文 書 名                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 4 月 24 日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医師国家試験問題の公募についてご協力をお願い</li> <li>・ 平成 24 年度医療の質の評価・公表等推進事業の申請受付について</li> <li>・ 医療法人の役員と営利法人の役職員の兼務について</li> </ul>                                                                                                                                                                                            |
| 4 月 25 日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「病床の転換に伴う病院又は診療所と介護老人保健施設等との併設について」の一部改正について</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 4 月 26 日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 厚生労働省「疑義解釈資料の送付について(その 2)」の送付について</li> <li>・ 東日本大震災に関する診療報酬等の按分方法等について</li> <li>・ 生活保護の医療扶助における後発医薬品に関する取扱いについて</li> <li>・ 生活保護の医療扶助における後発医薬品に関する取扱いについて(通知)</li> <li>・ 出産育児一時金等の受取代理制度の届出について</li> <li>・ 病院における吹付けアスベスト(石綿)等使用実態調査に係るフォローアップ調査結果の公表等について</li> <li>・ 平成 24 年度診療報酬改定関連通知の一部訂正について</li> </ul> |
| 4 月 27 日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療法人について(附帯業務の拡大, 特別医療法人に係る経過措置の終了)</li> <li>・ 運転免許行政の適正な運用のための協力について</li> <li>・ 平成 24 年度医療の質の評価・公表等推進事業の申請受付について(通知)</li> <li>・ 医療法施行規則等の一部を改正する省令の施行について</li> </ul>                                                                                                                                       |
| 4 月 28 日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「てんかん診療ネットワーク」名簿への記載内容の確認及び研究班 web site への掲載許可について(依頼)</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                           |
| 5 月 1 日  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新医薬品の再審査結果 平成 23 年度(その 4)について</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 5 月 2 日  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成 24 年度労災診療費算定基準の一部改定に伴う自賠責保険診療費算定基準(自賠責新基準)の取扱いについて</li> <li>・ 平成 24 年 4 月介護報酬改定関連通知等の送付について(その 3)</li> <li>・ 結核の高蔓延国について</li> </ul>                                                                                                                                                                      |

| 送付日     | 文 書 名                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|---------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 5 月 8 日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 24年度「日本医師会医学賞」ならびに「日本医師会医学研究奨励賞」候補の推薦について</li> <li>・使用薬剤の薬価(薬価基準)等の一部改正について</li> <li>・検査料の点数の取扱いについて</li> <li>・入院基本料等の栄養管理体制・瘡褥対策の基準に係る届出について及び厚生労働省「疑義解釈資料の送付について(その3)」の送付について</li> </ul>                                 |
| 5 月 10日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 23年度新人看護職員研修事業の事例集について</li> </ul>                                                                                                                                                                                          |
| 5 月 11日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 24年度認知症サポート医養成研修に係る周知について(依頼)</li> <li>・「平成 24年度介護報酬改定関連通知等の正誤について」の送付について</li> </ul>                                                                                                                                      |
| 5 月 14日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・米国産のウシ由来物を原材料として製造される医薬品等を使用する患者への情報提供について(依頼)(その19)</li> <li>・日本医師会作成「改定診療報酬点数表参考資料」の正誤表の送付について</li> <li>・「予防接種ガイドライン 2012年度版」「予防接種と子どもの健康 2012年度版」の送付について</li> <li>・「臓器の移植に関する法律」の運用に関する指針(ガイドライン)並びに細則の一部改正について</li> </ul> |
| 5 月 15日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヘモグロビン A<sub>1c</sub>測定値の国際標準化に係る対応について(通知)</li> <li>・独立行政法人福祉医療機構の貸付利率の改定について</li> </ul>                                                                                                                                     |
| 5 月 21日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 24年度「男女共同参画週間」の実施について</li> <li>・がん診療連携拠点病院機能強化事業実施要綱の一部改正について</li> </ul>                                                                                                                                                   |

-----

あなたできますか？(解答)

|           |   |   |   |   |   |
|-----------|---|---|---|---|---|
| 1         | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| b , c , d | d | b | d | d | f |



日本人が古くから拠り所としている道徳意識の一つに武士道精神があります。山本博文著「武士道、新渡戸稲造」によりますと、明治以前の武士の世には、これが武士道だという書物は存在していなかったようです。新渡戸は「武士道とは何か」という問題に正面から理論的に取り組み、彼なりの答えを出しましたが、結果としてそれがひとつの日本文化論にもなっています。

渡米中に英語で書き、フィラデルフィアの書店から明治32年に出版されましたが、数年のうちに欧州諸国で翻訳され世界的ベストセラーになったようです。日本での翻訳はむしろやや遅く、原著出版から9年後の明治41年だったようです。新渡戸は武士が身につけるべき「教養」、すなわち「徳目」を順に解説していますが、これが義、勇、仁、礼、信、名誉、忠義です。例えば「義」の項では、サムライにとって卑怯な行動や不正な行動ほど恥ずべきものではなく、そうした心性が義であるとしています。以前紹介させていただきました、数年前のベストセラー「国家の品格」の著者であります数学者の藤原正彦氏も、わが国固有の武士道精神こそが世界をリードする最高の理念であると強調しています。また先の山本氏も、新渡戸の「武士道」は出版から百十年を経た現在でも、日本人のものの考え方に一定の影響を与え続けているとしております。この「武士道」の教養を皆が積極的に共有するようにしたら、世の中がもっともっと好転するのではなからうかと、ふと考えてしまう今日この頃です。

(黒川)

はじめまして。今回広報委員という大役を仰せつかりました。ひろしま通りウィミズクリニックの釜付弘志です。診療所を立ち上げてから8年目に入っており、婦人科健診、妊婦健診、不妊、避妊、更年期等の内容で外来診療を行っています。趣味はドライブで先日も長野県まで陸路で走ってきました。満足な日本語も書けない私に校正など大丈夫なのか大変心配しています。委員の皆様には絶対迷惑をおかけすると思います。生暖かい目で見守っててください。宜しくお願いいたします。

(釜付)

今年は16年ぶりに宮崎でも金環日食が見られる予定でしたが、あいにくの雨。前回、宮崎で見ることができたのはペリー来航4年前の1849年、次回はなんと231年だそうです。是非とも見てみたかったと思う反面、心配されていた日食網膜症の宮崎での発生はなかったらと思うホッとしております。今回初めて広報委員を受嘱させていただきました。有意義な情報を提供できるよう努力してまいります。

(沖田)

はじめまして。委員をさせていただきます大野です。前任の彦坂先生と同じく第一内科消化器グループに所属しております。現在、串間の実家が経営する老健「長寿の里」のDr.が見つからず、経験が浅いにも関わらずそちらに勤めております。もし、「ちょっと田舎でゆっくり仕事がしたいなあ」と、老健にご勤務希望の方をお知りでしたら、ぜひともご連絡を下さい。委員会の皆様にも迷惑をおかけしますが、よろしくお願い致します。

(大野)

フランスの詩人の言葉に『結婚は人生の墓場』という言葉がありますが、本当にそうでしょうか？先日、

知人の結婚式がありました。皆の前に立つ新郎と新婦を見ていると、人生最高の瞬間、そして心の底から幸せに満たされるとこんなにも素晴らしい笑顔になるのだと感動を覚えました。私の目には墓場どころか、新たな幸せに向けての船出のように映りました。この言葉自体、誤訳説も聞くので真の意味は分かりませんが、最近友達との会話の中でも『結婚』という言葉が出てくるようになり、皆、少なからず意識し始めているようです。しかしながら、まだ結婚なんてと全く我が身のこととして考えていない自分はまだまだ子どもなのでしょう...。

(前田)

はじめまして。昨年度まで広報委員を担当していた宮崎大学医学科六年生の川崎さんに代わりまして、四月から広報委員を担当させて頂くことになりました。宮崎大学医学科四年の陣門と申します。広報委員会で飛び交う話題は、臨床科目の講義が始まったばかりの私にとっては、真新しいことばかりです。良い刺激を受けつつ、学生の視点で何かしら発信できればと思っております。よろしくお願い致します。

(陣門)

今期も新たなメンバーを加えて広報委員会がスタートしました。私は平成16年に広報委員になって2期、その後広報担当理事として2期務め、今年は広報に関わって9年目となります。あっという間だったような気もしますが、最初に広報委員になった時に小学校4年生だった息子が今年高校3年生になったことを考えると結構長いですね。新委員のフレッシュな視点での意見を参考に、私自身も新たな気持ちで取り組んでいきたいと思っております。

(荒木)

## 今 月 の ト ピ ッ ク ス

### 日州医談 24年度診療報酬改定について

今回は診療報酬と介護報酬の同時改定でした。改定内容の総括を述べつつ、最近問題となっている療養費(医療類似行為)の急増、療養内容の見直しと医師の同意書作成に係る話題を河野雅行副会長に述べていただきました。是非ご一読ください。

4 ページ

### 各郡市医師会だより

先月号に引き続き今月号では、延岡市医師会長の牧野剛緒先生と日向市東臼杵郡医師会長の渡邊康久先生から新執行部の紹介と会長就任に当たってのご挨拶をいただきました。

12ページ

### お知らせ 「はまゆう随筆」原稿募集

日州医事 7・8月号に毎年夏の恒例となりました「はまゆう随筆」欄を企画します。今回もテーマは設定せず、診療閑話、趣味、旅行記、スポーツ談義、詩、短歌、俳句など何でも結構です。皆様のご寄稿を心よりお待ちしております。

31ページ

### 診療メモ 孤立死の現状—宮崎市から

国民の高齢化と社会的繋がりのない独居者の増加により、社会共通の問題として「孤立死」が問題となっています。宮崎市の現状について、大西雄二先生が警察医としての自験例を示しつつ、その傾向と考察を述べてくださいました。

48ページ

日 州 医 事 第 75 号 (平成 24 年 6 月号) (毎月 1 回 10 日発行)

発行人 公益社団法人 宮 崎 県 医 師 会

〒 880-0023 宮崎市和知川原 1 丁目 10 番地 0985-22-5111(代)・FAX 27-6550

<http://www.miyazakimed.or.jp/> E-mail office@m.miyazakimed.or.jp

代表者 稲 倉 正 孝

編 集 宮崎県医師会広報委員会

委 員 長 尾田 朋樹・副 委 員 長 上野 満, 黒川 基樹

委 員 篠原 立大, 姫路 大輔, 藪内 悠貴, 湯浅美紗子

釜付 弘志, 沖田 和久, 大野 妙子, 前田 雄洋, 陣門 洋平

担当副会長 富田 雄二・担 当 理 事 青木 洋子, 荒木 早苗

事 務 局 学術広報課 喜入 美香, 杉田 秀博

印刷所 有限会社 ケイ・プロデュース・落丁・乱丁の際はお取り替えいたします。

定 価 35 円 (但し、県医師会員の購読料は会費に含めて徴収してあります)